

科目名	キャリア教育Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	青山 美樹
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	青山 美樹
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、 「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。 コミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	進級を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出
2		演習	「チームワーク力」：現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	「働きかけ力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4		演習	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(基本的対話スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(自己表現スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
11		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(社会的スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(サービスマインドについて)	配布プリントを記入し次回提出
13		試験	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14		実習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15		実習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	青山 美樹
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育4	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	青山 美樹
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴							
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	瀬戸 香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MC、コーディネーターとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・先輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育2	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	瀬戸 香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MC、コーディネーターとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。 ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。 キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようにする。 コミュニケーションスキルアップ検定の合格を目指す。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	進級を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える	配布プリントを記入し次回提出
2		演習	「チームワーク力」：現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	「働きかけ力」：自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
4		演習	「創造力」：新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	職業理解を深める	就職活動に挑戦したい企業一覧を記入し提出
6		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる	学校指定履歴書の学歴欄を記入し提出
7		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	学校指定履歴書の右欄を記入し提出
8		演習	【履歴書・プロフィールの書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる	授業に引き続きジョブカードの作成を行う
9		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(基本的対話スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
10		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(自己表現スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
11		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(社会的スキルについて)	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	コミュニケーションスキルアップ検定受験に伴う特別講義の実施(サービスマインドについて)	配布プリントを記入し次回提出
13		試験	コミュニケーションスキルアップ検定試験の受験	本日の試験で出来なかった部分を各自復習
14		実習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15		実習	進級制作展の参加を通じてクラス・他セクションとのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習		各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。		
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・キャリアプランシート・キャリアプラン作成補助シート・ジョブカード・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育3	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸 香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MC、コーディネーターとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校の専任スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	キャリア教育4	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	瀬戸 香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習・実習	総時間 (単位)	15 2		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MC、コーディネーターとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校の専任スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	滋慶学園が提示するキャリア教育マップを基に社会に出た後に「職業人」として成立するための人間教育を行う。ワークショップやグループワークを行うことでクラスの意識付けを行い、「社会(クラス)」のなかの役割のなかで主体的に行動できる人材育成を目指す。キャリアセンター・デビューセンターと共に就職・デビュー活動における教育を行う。						
到達目標	社会人基礎力(主要である「主体性」「働きかけ力」「実行力」「課題発見力」「計画力」「想像力」「傾聴力」「発信力」「チームワーク力」を理解し、「社会(クラス)」のなかで役割を見つけ主体的に行動できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	クラスのノームの意識付けを行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う	配布プリントを記入し次回提出
2		講義	「主体性」：状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる	配布プリントを記入し次回提出
3		演習	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる	配布プリントを記入し次回提出
4		講義	「傾聴力」：人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る	配布プリントを記入し次回提出
5		講義	「発信力」：伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
6		演習	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする	配布プリントを記入し次回提出
7		講義	エンターテイナーとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
8		講義	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う	配布プリントを記入し次回提出
9		講義	エンターテインメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ	本日の感想をレポートにて提出
10		講義	「計画力」：計画的に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
11		演習	「実行力」：目標を設定して着実に行動する力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
12		講義	「課題発見力」：今の状況から課題を見つける力を学ぶ	配布プリントを記入し次回提出
13		講義	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる	配布プリントを記入し次回提出
14		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
15		実習	「明日への扉」の参加を通じてクラス・後輩とのコミュニケーションを仕事を通じて学ぶ	スタッフとして参加した経験をレポートにて提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認。	
【使用教科書・教材・参考書】				
個人作成プリント・日常スコアシート・学生サポートハンドブック				

科目名	IT	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 西田剛 中田雅敏 中町俊自
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	アーティスト・ミュージシャン・プロデューサー等の傍ら、YouTube等への投稿やSNSを利用し、音楽史などを教えている					
授業の学習 内容	現代の芸能人・アーティストは、SNSの利用が「仕事」につながるケースが多くなってきている。 この授業を通じて、正しいスキル・SNSの取り扱い・リテラシーを身に付け、これからの学生生活、そして卒業した後も、芸能界で生きていくためのITスキルを身につける。					
到達目標	パソコン(Mac)の操作ができるようになる。 インターネット・SNSをリテラシーを守り、取扱いながら自己プロデューサーができるようになる。 プロフィール・音源・動画など、自分の芸能活動に役立つITスキルを身につけ、自身のスキルとして扱えるようになる。					
評価方法及び基準	筆記テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PCの操作方法/COM Portal(メール)の使い方(署名等) 何かを添付したりダウンロードする方法を学ぶ ITリテラシー冊子① ITリテラシーとは?	
2		講義・演習	イラストレーター基礎① 描画の方法・文字入力 Word基礎 COM Debut Bankを開いてみる ITリテラシー冊子② ITの基本	事前に宣材写真(アー写)をGoodreader経由でダウンロードし、確認しておく
3		講義・演習	自分のアー写の取扱いについて COM Debut Bankをアップデート ITリテラシー冊子③ ソーシャルメディアについて	デビューバンクを作成する、情報の更新
4		講義・演習	イラストレーター・Word応用 COM Debut Bankを充実させる ITリテラシー冊子③ SNSのトラブルについて	デビューバンクを作成する、情報の更新
5		講義・演習	SNSの種類・良い事例・悪い事例を知る ITリテラシー冊子④ さまざまな権利や法律	自分のSNSを見直す
6		講義・演習	iMovieの使い方を学ぶ(操作方法・取り込み・編集) ITリテラシー冊子⑤ ICTを取り巻く環境の変化	動画撮影(授業風景や自分の作品撮影)
7		講義・演習	iMovieの使い方を学ぶ(自分が撮ったものを編集してみる) ITリテラシー冊子⑥ ITトレンド	今流行しているITトレンドについて調べる
8		講義・演習	自分の作った映像に効果を入れる(応用)	動画作品を作成する
9		講義・演習	LogicまたはGarage bandを使用する① 曲の編曲と音データの知識	音編集を実際に行う
10		講義・演習	LogicまたはGarage bandを使用する② リズムを意識した曲の編曲	音編集を実際に行う
11		講義・演習	LogicまたはGarage bandを使用する③ 小節を意識した自然な曲の編曲	音編集を実際に行う
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	LogicまたはGarage bandを使用する④ データの書き出しと配信・共有方法	音編集と配信を実際に行う
14		講義・演習	テスト (イラレ・ワード等を使用)	
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad/携帯電話/筆記用具/COMポータルマニュアル冊子/ITリテラシー冊子				

科目名	舞踊舞台史1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	目井 浩崇
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台の歴史の講義と、グループ発表を通して、舞台の歴史を学ぶ。 演劇の歴史を学び、俳優・声優として最低限必要な教養を身につける。 また、芸能界で常識とされている舞台の知識や用語も学ぶ。						
到達目標	舞台の歴史を全体的に網羅し、その上で自分が好きな演劇を見つけられるようになる。 芸能界で活躍するための最低限の知識・教養を身につけ、自分のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台の歴史の流れの軸を理解する	
2		講義・演習	古代ギリシア演劇～中世	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる
3		講義・演習	古代ギリシア演劇の研究発表	他グループの発表を聞き、自分たちの感想をレポートにまとめる
4		講義・演習	古代ギリシア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
5		講義・演習	シェイクスピアの作品に触れる	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる
6		講義・演習	シェイクスピア演劇の研究発表	グループでの発表をレポートにまとめる
7		講義・演習	シェイクスピア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
8		講義・演習	フランス演劇の台頭 三単一の一致の法則 スペイン演劇、ロシア演劇のリアリズム	グループでの発表をレポートにまとめる
9		講義・演習	フランスのシュールレアリスム演劇、ミュージカル演劇、ピンター	グループで「シュールレアリスム演劇」か「ロシア演劇」の戯曲を選び一部発表できるよう準備する
10		講義・演習	シュールレアリスム演劇かロシア演劇での発表	グループでの発表をレポートにまとめる
11		講義・演習	日本の古典演劇、能、狂言、歌舞伎、落語	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
12		講義・演習	日本演劇の文明開化 新劇 岸田國士	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
13		講義・演習	アンガラ演劇・近代演劇について	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad(デジタル教材:舞台舞踊史)				

科目名	舞踊舞台史2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	目井 浩崇
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	舞台の歴史の講義と、グループ発表を通して、舞台の歴史を学ぶ。 演劇の歴史を学び、俳優・声優として最低限必要な教養を身につける。 また、芸能界で常識とされている舞台の知識や用語も学ぶ。						
到達目標	舞台の歴史を全体的に網羅し、その上で自分が好きな演劇を見つけられるようになる。 芸能界で活躍するための最低限の知識・教養を身につけ、自分のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台の歴史の流れの軸を理解する	
2		講義・演習	古代ギリシア演劇～中世	古代ギリシア演劇についてグループ研究し、レポートにまとめる
3		講義・演習	古代ギリシア演劇の研究発表	他グループの発表を聞き、自分たちの感想をレポートにまとめる
4		講義・演習	古代ギリシア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
5		講義・演習	シェイクスピアの作品に触れる	シェイクスピア作品についてグループ研究し、レポートにまとめる
6		講義・演習	シェイクスピア演劇の研究発表	グループでの発表をレポートにまとめる
7		講義・演習	シェイクスピア演劇を映像で鑑賞する	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
8		講義・演習	フランス演劇の台頭 三単一の一致の法則 スペイン演劇、ロシア演劇のリアリズム	グループでの発表をレポートにまとめる
9		講義・演習	フランスのシュールレアリスム演劇、ミュージカル演劇、ピ ンター	グループで「シュールレアリスム演劇」か「ロシア演 劇」の戯曲を選び一部発表できるよう準備する
10		講義・演習	シュールレアリスム演劇かロシア演劇での発表	グループでの発表をレポートにまとめる
11		講義・演習	日本の古典演劇、能、狂言、歌舞伎、落語	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
12		講義・演習	日本演劇の文明開化 新劇 岸田國士	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
13		講義・演習	アンガラ演劇・近代演劇について	観劇内容に対する感想をレポートにまとめる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad(デジタル教材:舞台舞踊史)				

科目名	英会話	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀 ゆり子
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	滋慶学園の英語教育に長期にわたって従事。Active Learning に取り組みコミュニケーション主体の授業を実施。						
授業の学習 内容	外国人を前に怖がり恥ずかしがたりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 1
2		講義・演習	個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス Unit 3
3		講義・演習	好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス Unit 6
4		講義・演習	相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 8
5		講義・演習	相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に対して返答出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 11
6		講義・演習	時間について尋ねる、伝達することが出来るようになる 日常生活について尋ねることが出来るようになる 日常生活について説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 7 & 13
7		講義・演習	継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 14
8		講義・演習	場所について質問出来るようになる ある場所を説明することが出来るようになる 道案内ができるようになる 明確な説明をお願い出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 19 & 20
9		講義・演習	頻度について質問出来るようになる 頻度を説明することが出来るようになる 値段について質問出来るようになる 値段を説明することが出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 21 & 23
10		講義・演習	食べ物について質問出来るようになる 食べ物を説明出来るようになる レストランで注文出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 28
11		講義・演習	過去のことについて質問ができるようになる 過去のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 29 & 30
12		講義・演習	将来のことについて質問ができるようになる 将来のことを説明出来るようになる	オンラインプラクティス Unit 32
13		講義・演習	復習	復習オンラインプラクティス
14		講義・演習	定期試験	
15		講義・演習	振り返り	
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
Speak Now 1				

科目名	韓国語	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鄭 壽美
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ハンゲルの理解、読み、聞き、作文まで対応 学んだ内容を基に、チームワークで会話の練習を行う 教科書で学んだものを応用して活用できるような発表も行う						
到達目標	韓国語での日常会話が可能になる 韓国語能力試験(TOPIK)の獲得を目標にします						
評価方法と基準	筆記による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ハンゲルの理解を深める。	ハンゲルの復習を行う。
2		講義	ハンゲルの読みをマスターする。	ハンゲルの読みの復習を行う。
3		講義	ハンゲルの読みの確認。	ハンゲルの読みの復習を行う。
4		講義	パッチムの理解し使える。	パッチムの理解の復習を行う。
5		講義	リスニング練習・テストと復習	リスニング練習・テストと復習
6		講義	挨拶の会話文作って話せる。	挨拶の会話文作っての復習を行う。
7		講義	「あります」「ありません」を使った表現を使う。	「あります」「ありません」を使った表現の復習を行う。
8		講義	形容詞の応用を理解する。	形容詞の応用の復習を行う。。
9		講義	敬語を理解する。	敬語を理解の復習を行う。
10		講義	過去形文を理解する。	過去形文を理解の復習を行う。
11		講義	未来形文を理解する。	未来形文を理解の復習を行う。
12		講義	可能系文を理解する。	可能系文を理解の復習を行う。
13		講義	作文を理解する。	作文を理解の復習を行う。
14		講義	「あります」「ありません」を使った表現を使う。	「あります」「ありません」を使った表現の復習を行う。
15		講義	前期実施項目の復習	前期実施項目の復習を行う。
準備学習 時間外学習			様々なスタイルについて基礎について反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
韓国語初歩の初歩 CD付／韓国語「文法」トレーニング				

科目名	ヴォイストレーニングE-2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	元劇団四季俳優であり、「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。						
授業の学習 内容	ミュージカル俳優としての、体感・腹筋・姿勢・呼吸法・発声・滑舌などの基礎レッスン。課題曲の歌唱及びレクチャー。個々の理想を大切にしながら、目標に則した歌唱レッスンを行う。 発声・音程・リズム・表現・歌唱テクニック、あらゆる角度からレクチャーを行う。						
到達目標	「歌う声」とは何か？を理解しながら、ミュージカル歌唱の大切な基礎を反復練習し、自分のスキルとして扱えるようになる。じっくりレクチャーして「歌える声と体」を作って行き、同時にミュージカル俳優としての心の育成にも努めることで、「趣味としての歌」から「仕事としての歌」へシフトできるように技術と精神を身につけられるようになる。 学んだ事を、授業以外でも反復練習を実施できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	カイダンス、課題曲ディスカッション、 ボイトレ基礎	決まった課題曲の歌詞の準備 歌唱ができるように練習
2		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を組んだ歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習
8		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 個性を伸ばし、表現力を中心とした歌唱指導	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
9		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
10		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
11		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
12		講義・演習	ボイトレ基礎～課題曲、歌唱レッスン 音程・リズム・表現・ステージングを総合的に習熟度をチェックしながら完成を目指す 歌唱テスト	もらったアドバイスに対しての練習 表現をすることを考える
13		講義・演習	発声・音程・リズム・表現	来年に向けた、歌唱への課題を見つける
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲は最初の授業でディスカッション選曲します。次週その曲の歌詞を各自2部プリントアウトして持参。 服装は稽古着もしくは動きやすい服(体幹トレーニング等の為)。持ち物は筆記用具とペットボトル等の水(水分補給の為)。				

科目名	Body Fundamental1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	軽部裕美
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1)すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2)セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1)ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2)自分の身体を知ることでもケガをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について(自分の身体を感じる)	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸(呼吸のしくみ、胸郭について)	自分がどのように呼吸をしているのかを感じる
5		講義・演習	腹筋(腹筋の種類と働き)	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤(機能、構造、動きについて)	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節(位置、どのように動くのか)	プリエやタンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝(機能、構造、動きについて)	柔らかいプリエやダウンの動きができているか
9		講義・演習	足(基盤としての足の構造、機能について)	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕(構造、動き、ポールドブラについて)	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨(機能、構造、体幹の動きについて)	身体の繋がりの中で動けているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池田 卓
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAPAN DANCE DELIGHT決勝進出など、全国のバトルやコンテストで優勝など受賞多数						
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を使い、個性的に踊りこなせるように指導をする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・振付は勿論、フリーでもHOUSEを踊れるようにすること ・様々な曲調に対応したHOUSEができるようになること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎の復習	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE応用 (ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HOUSE応用 (リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HOUSE基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ミュージックセオリー1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。						
到達目標	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、現場で即戦力とされる人材として育成するために音楽理論といわれるそれらの内容について分かり易く解説するとともに、実際に楽譜が読めるように訓練することで自身のスキルとして扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への楽譜の移り変わりを知る 楽器ごとの音域を知る
2		講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名を答え、鍵盤の位置と一致させる
3		講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方が分かる 連符について知る
4		講義・演習	拍子、複合拍子	小節線 単純拍子、複合・混合拍子 タイ、シンコペーションを理解する
5		講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6		講義・演習	スコアリーディング	1w~5wまでの復習をし理解度を高める
7		講義・演習	中間テスト	
8		講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを理解する (＃系メジャースケール)
9		講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする (b系メジャースケール)
10		講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の違いが分かる 臨時記号の効力 正しい楽譜の書き方を知る
11		講義・演習	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を学ぶ
12		講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13		講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14		講義・演習	期末テスト	
15		講義・演習	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	

【使用教科書・教材・参考書】「ゼロから始める音楽理論」、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部

科目名	ミュージックセオリー2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	マイナースケール	マイナースケールの仕組みを理解し、調号を用いてナチュラルマイナースケールが書けるよう復習する
2		講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの特徴を理解し、スケールが書けるよう復習する
3		講義・演習	近親調	それぞれの調の関係性を理解し復習する
4		講義・演習	移調	五線を用いて移調が出来るようになる
5		講義・演習	奏法	省略記号、奏法記号、装飾記号を復習する
6		講義・演習	スコアリーディング	1w~5wまでの復習をし、理解度を高める
7		講義・演習	中間テスト	
8		講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習する
9		講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようになる
10		講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習する
11		講義・演習	その他のコード	add9、sus4、6thコードを復習する
12		講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13		講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14		講義・演習	期末テスト	
15		講義・演習	テスト返却、総復習	楽譜を見て、keyや雰囲気などをつかみ、表現できる
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	

【使用教科書・教材・参考書】「ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部

科目名	イヤートレーニング1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	正村 恵
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音の歴史、モールズ信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に印けるようにする
2		講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を聞き音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3		講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5		講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、#となし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6		講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、#とあり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7		講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(4.5度、#となし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9		講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1～5度、#とあり) トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12		講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major/minorのコード判定、音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13		講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14		講義・演習	期末テスト	
15		講義・演習	テスト返却、総復習	
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	

【使用教科書・教材・参考書】

「イヤートレーニング」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部(発売)

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校

科目名	発声・ボディートレーニング2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声 インプロゲーム・シアターゲームを行う 戯曲の一部の場面のセリフによる演技						
到達目標	自分がイメージした声・滑舌ができるようになる 相手に声が届くようになる 状況に応じた声が出るようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム	呼吸の体探を实践 (発声に備えてのテキスト予習)
2		講義・演習	ストレッチ・発声・ 短いテキストの配布、説明	台本を読んでくる
3		講義・演習	ストレッチ・発声・前回配布台本の本読み	台本を読んでくる
4		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み① 「台本」とは	台本を読んでくる
5		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み② 発声を活かした台本読み	台本を読んでくる
6		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み③ 滑舌を活かした台本読み	台本を読んでくる
7		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み④ 外郎売りとは	外郎売りを読む・覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み⑤ 外郎売りのポイント指導	外郎売りを感じる
9		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古① 立ち稽古に必要な心構え	動きを感じる
10		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古② 演出について考える	役を表現するための演技の練習
11		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古③ 相手役とのコミュニケーション	役を表現するための演技の練習
12		講義・演習	ストレッチ・発声・テスト	反省、振り返りをし課題を見つける
13		講義・演習	ストレッチ・発声・テストの反省会	感想文を書く
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 iPad教材「発声・滑舌教本」／演技テキスト台本				

科目名	ボイスサンプル制作1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	平山笑美
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	映画「ダヤンとジタン」ジタン役、アニメ「異世界はスマートフォンとともに。」レイン役、ゲーム「アイドルマスター ミリオンライブ」北上麗花役などで活躍する声優。2014年からDA東京にてボイスサンプルの作成方法の講義を担当。						
授業の学習 内容	ボイスサンプルは声の仕事を獲得する上で、この先ずっと必要不可欠なものです。 講義を通して、ボイスサンプルとはなにか、難しく考えずに自分でボイスサンプルを作るポイントを押さえ、 発表を通して、今の自分の実力の中からどれがベストかを見つけていきます。						
到達目標	(1)ボイスサンプルが声の仕事をする人にとって、どの位重要なのか理解し、扱えるようになる。 (2)ボイスサンプルの基本的な作り方を学び、実践して自分なりに工夫しながらサンプルを作ることができるようになる。 (3)ボイスサンプルの作成・発表を通して、自分がやりたい事と、出来る事の整理ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	自己紹介。今後の授業の説明など	
2		講義	ボイスサンプルとはなにか？ 声優の仕事と照らし合わせながら、プリントを使って理解を深めます。	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
3		講義	ボイスサンプルを作るときのポイントを学んでいきます。	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
4		講義・演習	課題のセリフを使って自分なりに考えた構成で発表。 サンプル作成のポイントを掴む	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
5		講義・演習	前回の授業の反省点を改善できるように課題のセリフを使って発表。	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
6		講義・演習	自分でサンプルの原稿を作るにあたっての注意など。	授業内で配ったプリントを持参
7		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。① 自分に合ったサンプル原稿を知る	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
8		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。② 前週のブラッシュアップを行い、細かな発声滑舌について知る	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
9		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。③ 表現する上で必要な感情解放について学ぶ	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
10		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。④ 前週の課題に加え、聞く企業を考えた構成を考える	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
11		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。夏休み明けの課題などの講義	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	夏休みの課題提出。発表。① 課題へのブラッシュアップ。他の人のアドバイスも含め、研鑽する	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
14		講義・演習	夏休みの課題提出。発表。② 後期に向けて、自分が得意なキャラクターを定める	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習		興味のある声優のボイスサンプルを各事務所ホームページから試聴し、研鑽する		
【使用教科書・教材・参考書】				
授業で配ったプリント類、筆記用具、録音機器				

科目名	ボイスサンプル制作2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	平山笑美
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	映画「ダヤンとジタン」ジタン役、アニメ「異世界はスマートフォンとともに。」レイン役、ゲーム「アイドルマスター ミリオンライブ」北上麗花役などで活躍する声優。2014年からDA東京にてボイスサンプルの作成方法の講義を担当。						
授業の学習 内容	ボイスサンプルは声の仕事を獲得する上で、この先ずっと必要不可欠なものです。 講義を通して、ボイスサンプルとはなにか、難しく考えずに自分でボイスサンプルを作るポイントを押さえ、 発表を通して、今の自分の実力の中からどれがベストかを見つけていきます。 さらに、新人発掘オーディションに提出できるようなサンプルの作成を目指します。						
到達目標	(1)自分なりに工夫しながらサンプルを作ることができるようになる。 (2)ボイスサンプルの作成・発表を通して、自分がやりたい事と、出来る事の整理が出来るようになる。 (3)より自分のアピールポイントを詰め込んだサンプルづくりを目指し、オーディションに対応できるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。① 自分が「やりたい」ではなく「やれる」キャラクターを定める	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
2		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。② 自分が「やれる」キャラクターを演じるためのスキルを学ぶ	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
3		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。③ 原稿の構成を見直し、よりよいサンプル作りを目指す	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
4		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。④ サンプルの並べ順を考えながら、強調をつける	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
5		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑤ ボイスサンプルの効果的な聞かせ方について知る	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
6		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑥ 「自分の名前」について	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
7		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑦ 目指す事務所を研究し、ふさわしい原稿を考える	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
8		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑧ 前週考えた原稿をブラッシュアップする	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
9		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑨ ナレーション原稿について	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
10		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑩ 前週に続き、ナレーションについて、細かな滑舌表現を考える	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
11		講義・演習	自分で書いてきた原稿を提出。発表。⑪ 冬休み明けについて	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
12		講義・演習	冬休み中に作った原稿を提出。発表① 最終学年にふさわしいボイスサンプルを研鑽する	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
13		講義・演習	冬休み中に作った原稿を提出。発表② 間もなく迫る所属オーディション用ボイスサンプルを完成させる	原稿の作成 素材のセリフ・ナレーションの練習
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習		興味のある声優のボイスサンプルを各事務所ホームページから試聴し、研鑽する		
【使用教科書・教材・参考書】				
授業で配ったプリント類、筆記用具、録音機器				

科目名	オーディション対策 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾真実
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーションアート専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。 その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 芸歴18年						
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナー や服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性 を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自己PR出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	プロフィールシート見直し	プロフィールシートの内容を見直す
2		講義・演習	模擬オーディションCM1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
3		講義・演習	模擬オーディションCM2 企業研究を行うこと	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
4		講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
5		講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ2 作品・監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
6		講義・演習	模擬オーディション映画1 自己PRのコツ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
7		講義・演習	模擬オーディション映画2 作品・監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
8		講義・演習	模擬オーディション舞台 作品・演出家について知る/2.5次元ミュージカルについて	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
9		講義・演習	模擬オーディションアニメ 作品・音響監督・共演者について知る	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
10		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り1 自己PR30秒・パフォーマンス30秒作成	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
11		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り2 入りたい事務所や劇団に合わせた内容作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
12		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り3 自信持ってパフォーマンスができる心作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
13		講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り 卒業後のオーディションへの向き合い方について	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			オーディションを受ける予定での服装・課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。				

科目名	舞台基礎1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松尾真実
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーション専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。 その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティ、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 芸歴：18年						
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自己PR出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業説明	授業を振り返り、心構えをする 各事務所のプロフィールシートを観る
2		講義・演習	プロフィールシートの作り方	特になし
3		講義・演習	服装やメイクのアドバイス	プロフィールシート作成
4		講義・演習	宣材写真アドバイス	衣装・メイクの用意
5		講義・演習	自己PR30秒の作り方① 構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
6		講義・演習	自己PR30秒の作り方② 印象を持ってもらう構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
7		講義・演習	自己PR30秒の作り方③ 印象を持ってもらうパフォーマンスを考える	自己PRを作ってくる
8		講義・演習	自己PR60秒の作り方④ 考えたパフォーマンスのクオリティチェック	自己PRを作ってくる
9		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑤ 自分にできることを知る	自己PRを作ってくる
10		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑥ 自分ができるとやりたいことのギャップを知る	自己PRを作ってくる
11		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑦ やりたいことに向けた自己PRの構築	自己PRを作ってくる
12		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑧ 衣装を含めたトータル的な自己PRを考える	自己PRを作ってくる
13		講義・演習	テスト	テスト振り返り
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			オーディションを受ける予定での服装・課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。				

科目名	舞台基礎2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松尾真実
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	96年東京コミュニケーション専門学校コミュニケーション科DJ・アナウンサーコース卒業在学中よりラジオ、DJとしてデビュー。 その後、DJ、MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動 芸歴：18年						
授業の学習 内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自己PR出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業説明	授業を振り返り、心構えをする 各事務所のプロフィールシートを観る
2		講義・演習	プロフィールシートの作り方	特になし
3		講義・演習	服装やメイクのアドバイス	プロフィールシート作成
4		講義・演習	宣材写真アドバイス	衣装・メイクの用意
5		講義・演習	自己PR30秒の作り方① 構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
6		講義・演習	自己PR30秒の作り方② 印象を持ってもらう構成を学ぶ	自己PRを作ってくる
7		講義・演習	自己PR30秒の作り方③ 印象を持ってもらうパフォーマンスを考える	自己PRを作ってくる
8		講義・演習	自己PR60秒の作り方④ 考えたパフォーマンスのクオリティチェック	自己PRを作ってくる
9		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑤ 自分にできることを知る	自己PRを作ってくる
10		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑥ 自分ができるとやりたいことのギャップを知る	自己PRを作ってくる
11		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑦ やりたいことに向けた自己PRの構築	自己PRを作ってくる
12		講義・演習	自己PR60秒の作り方⑧ 衣装を含めたトータル的な自己PRを考える	自己PRを作ってくる
13		講義・演習	テスト	テスト振り返り
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			オーディションを受ける予定での服装・課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
毎回オーディションを意識した服装やメイクで授業へ参加。				

科目名	朗読1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二						
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	うまく朗読するだけでは他に変わりはあります。自分らしい感性と表現力を持てるようになる。						
到達目標	脚本解釈ができるようになる。台詞に感情を乗せられるようになる。						
評価方法と基準							

授業計画・内容授業計画・内容				
回数 回数	日程 日程	授業形態 授業形態	学習内容 学習内容	間外学習(学習課題) 準備学習 時間外学
1		講義・演習	自己紹介の実施。人前で自分をアピールできる。	緊張を克服する
2		講義・演習	アクセント辞典の理解。アクセント記号を読解できるようになる。	アットランダムにアクセント辞典を開いて、初見で正しいアクセントを理解できるようにする。
3		講義・演習	アクセント辞典の理解。アクセント記号を見て正しい発音ができる。	アットランダムにアクセント辞典を開いて、初見で正しいアクセントを発音できるようにする。
4		講義・演習	朗読課題1。課題を正しいアクセントで読み上げる事ができる。	人前でもアクセントを間違わないようにする。
5		講義・演習	朗読課題2。。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
6		講義・演習	朗読課題3。台詞に感情を込める事ができる。	、感情を大きく出すことを注意する。アクセント確認
7		講義・演習	朗読課題4。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
8		講義・演習	朗読課題5。台詞に感情を込める事ができる	喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認
9		講義・演習	朗読課題6。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
10		講義・演習	朗読課題7。台詞に感情を込める事ができる。	喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認
11		講義・演習	朗読課題8。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
12		講義・演習	朗読課題9。台詞に感情を込める事ができる。	喜怒哀楽を意識し、感情を大きく出すことを意識する。アクセント確認
13		講義・演習	朗読発表会。クラス内で課題を通して読めるようになる。	アクセント、台詞の感情など総合的に台本を意識して読める
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			前回までのアドバイスを踏まえ復習	
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典				

科目名	朗読 2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	前期の朗読経験を活かし、新たな素材でさらに表現力を磨けるようになる。						
到達目標	自分らしい脚本解釈ができるようになる。台詞に感情を乗せ人を惹きつけられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容授業計画・内容				
回数回数	日程日程	授業形態授業形態	学習内容学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題) 準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業説明。授業内容を理解できる。	配布台本を読み込み理解を深める。
2		講義・演習	朗読課題 1 課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
3		講義・演習	朗読課題 2。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
4		講義・演習	朗読課題 3。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
5		講義・演習	朗読課題 4。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
6		講義・演習	朗読課題 5。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
7		講義・演習	朗読課題 6。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
8		講義・演習	朗読課題 7。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
9		講義・演習	朗読課題 8。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
10		講義・演習	朗読課題 9。課題の脚本解釈ができる。	脚本を読み込み、解釈を深める。
11		講義・演習	朗読課題 10。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
12		講義・演習	朗読課題 11。台詞に感情を込める事ができる。	感情を入れて台本を読み込む。アクセント確認
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			前回までのアドバイスを踏まえ復習	
【使用教科書・教材・参考書】 アクセント辞典				

科目名	紙芝居1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中山知佳
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として活動中。						
授業の学習 内容	紙芝居の表現を通して、エンターテイナーとしての基礎を学ぶ。人前に出て表現をすることを学ぶ。						
到達目標	紙芝居を通して、声だけでなく全身を使って表現できるようになる。人前で表現をできるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	自己紹介 授業説明	
2	4月24日	講義・演習	模範口演(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	模範口演を観て感じたことをまとめる
3	5月8日	講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	模範口演を観て感じたことをまとめる
4	5月15日	講義・演習	喜怒哀楽(感情コントロール)	感情コントロールワークをクラスメイトと演じる
5	5月29日	講義・演習	グループ紙芝居① 課題発表、設定説明	課題練習
6	6月12日	講義・演習	グループ紙芝居② 感情を考えて演じてみる	課題練習
7	6月19日	講義・演習	グループ紙芝居③ 自分たちでしか演じられない表現を考える	課題練習・アイデアを盛り込む
8	6月26日	講義・演習	グループ紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
9	7月3日	講義・演習	一人で紙芝居① 課題発表、初見での実演	課題練習
10	7月10日	講義・演習	一人で紙芝居② ナレーション部とセリフとの区分けをする	課題練習
11	7月17日	講義・演習	一人で紙芝居③ 自身が演じたいキャラクターを考える	課題練習・アイデアを盛り込む
12	7月24日	講義・演習	一人で紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
13	9月4日	講義・演習	一人で紙芝居発表、振り返り、総括	クラスメイトの発表から自身の演技を振り返る
14	9月18日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15	9月25日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			課題の読み込みは常に実施	
【使用教科書・教材・参考書】				
課題原稿、筆記用具				

科目名	紙芝居2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中山知佳
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として活動中。						
授業の学習 内容	紙芝居の表現を通して、エンターテイナーとしての基礎を学ぶ。人前に出て表現をすることを学ぶ。						
到達目標	紙芝居を通して、声だけでなく全身を使って表現できるようになる。人前で表現をできるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放① お客さんと一緒に演じることを考える	老若男女のお客様に親しんでもらうための表現 を考え練習する
2	10月16日	講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放② 進行しながら演じることを感じる	老若男女のお客様に親しんでもらうための表現 を考え練習する
3	10月23日	講義・演習	グループ紙芝居① チームでの役割分担を考える	課題練習
4	10月30日	講義・演習	グループ紙芝居② チームでの役割分担の中で自分の表現するべきことを考える	課題練習
5	11月6日	講義・演習	グループ紙芝居③ 複数人で同じ作品を演じるグループ感を作り出す	課題練習
6	11月13日	講義・演習	グループ紙芝居④ 個性を活かしたパフォーマンスを検討する	課題練習・アイデアを盛り込む
7	11月20日	講義・演習	グループ紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
8	11月27日	講義・演習	一人で紙芝居① 課題発表、作品について	課題練習
9	12月4日	講義・演習	一人で紙芝居② 演じ分けについて考える	課題練習
10	12月11日	講義・演習	一人で紙芝居③ ひとりで演じるためのエネルギーの配分を考える	課題練習・アイデアを盛り込む
11	12月18日	講義・演習	一人で紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団ヤムちゃん)	ディレクションを受け、改善してみる
12	1月8日	講義・演習	一人で紙芝居発表	課題練習
13	1月15日	講義・演習	一人で紙芝居発表、振り返り、総括	ディレクションを受け、改善してみる
14	1月22日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15	2月5日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			課題の読み込みは常に実施	
【使用教科書・教材・参考書】				
課題原稿、筆記用具				

科目名	ジャズ A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早く正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ビルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	前週の続き。ビルエット練習。バットマン練習。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ステップの流れからのビルエット。バットマン。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	ビルエット。バットマン。コンビネーション①。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ビルエット。バットマン。コンビネーション②。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	ビルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	ビルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	ビルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション③	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	前期内容分思い出し。コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト実施。	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズ A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ビルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	前週の続き。ビルエット練習。バットマン練習。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	ステップの流れからのビルエット。バットマン。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	ビルエット。バットマン。コンビネーション①。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ビルエット。バットマン。コンビネーション②。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	ビルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	ビルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	ビルエット。バットマン。ジャンプ技。クロスフロア。	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	これまでの基本技のスキルアップ。コンビネーション③	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	前期内容分思い出し。コンビネーション	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト実施。	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズ B-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用						
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	各自授業内容を復習
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	各自授業内容を復習
3		講義・演習	プリエなどバレエの基礎	各自授業内容を復習
4		講義・演習	振り付けを覚える。	各自授業内容を復習
5		講義・演習	振り付けを正確に踊る。	各自授業内容を復習
6		講義・演習	表情もつけて踊る。	各自授業内容を復習
7		講義・演習	何回踊っても間違えない。	各自授業内容を復習
8		講義・演習	スローな動きで踊る。	各自授業内容を復習
9		講義・演習	手足がしっかり伸びるようにする。	各自授業内容を復習
10		講義・演習	感情をこめて踊る。	各自授業内容を復習
11		講義・演習	少人数に分けて大きく踊る。	各自授業内容を復習
12		講義・演習	アップテンポのダンス	各自授業内容を復習
13		講義・演習	グローブとアイソレーションを大切に。	各自授業内容を復習
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	レポートの提出
15		講義・演習	総復習	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ				

科目名	ジャズ B-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習内容	プロのダンサーになるために必要なことを取得。ストレッチ、基礎トレーニング、応用						
到達目標	もらった振り付けを正確に覚えて表現する。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチの強化	各自授業内容を復習
2		講義・演習	アイソレーションを中心に。	各自授業内容を復習
3		講義・演習	セクシーに歩く練習	各自授業内容を復習
4		講義・演習	軽いコンビネーションのクロスフロア	各自授業内容を復習
5		講義・演習	腰をしっかり動かせるように	各自授業内容を復習
6		講義・演習	可愛い歩き方	各自授業内容を復習
7		講義・演習	笑顔で歩く	各自授業内容を復習
8		講義・演習	アイドルらしい振り付け	各自授業内容を復習
9		講義・演習	表情を大切に。	各自授業内容を復習
10		講義・演習	フリーでのダンス強化	各自授業内容を復習
11		講義・演習	セクシーな振り付けで踊る。	各自授業内容を復習
12		講義・演習	胸部と腰をしっかり使う。	各自授業内容を復習
13		講義・演習	フロアでセクシーに。	各自授業内容を復習
14		講義・演習	フォーメーションで踊る。	レポートの提出
15		講義・演習	総復習	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
シューズ				

科目名	ジャズ C-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の 学習内容	・ジャズダンス基礎の確認、徹底 ・ダンスを通して表現の実践					
到達目標	①正しい姿勢を理解し、実践できる。 ②基礎の大切さを理解している。 ③振りを覚え、曲の意味に沿って表現しながら踊ることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの説明、ピルコット・コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップの解説 ①姿勢・コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ウォームアップの解説 ②パラレルの重要性・コンビネーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ウォームアップの解説 ③ルルベ・コンビネーション	各自授業内容を復習
5		講義・演習	プリエの説明、実践	各自授業内容を復習
6		講義・演習	タンデュ・デガジェの説明	各自授業内容を復習
7		講義・演習	体重移動 タンデュ→タンデュ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	片足になる パッセ	各自授業内容を復習
9		講義・演習	体重移動 タンデュ→パッセ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	ロンデジャンプ	各自授業内容を復習
11		講義・演習	ロンデジャンプ→ピケ	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピレットダブルを安定させる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズ C-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。 					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】 時々ゴムやボールを使用				

科目名	ジャズ D-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の 学習内容	基本の姿勢から始まり、ダンスの基礎を学んでいく 振りを覚える						
到達目標	正しい姿勢の理解 基礎の大切さを伝える 振りを覚え、自分なりに踊ることができる						
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップ1曲目→コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップ2曲目→コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ロールアップ、ダウン、フラットバック	各自授業内容を復習
4		講義・演習	正しいプリエ パラレル ターンアウト	各自授業内容を復習
5		講義・演習	指先の正しい使い方 タンデュ デガシエ	各自授業内容を復習
6		講義・演習	パッセの説明→バランス	各自授業内容を復習
7		講義・演習	パッセのバランスからピルエット	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ロンデジャンプの説明	各自授業内容を復習
9		講義・演習	パッセとロンデジャンプからのピケターン	各自授業内容を復習
10		講義・演習	片足プリエ→体重移動	各自授業内容を復習
11		講義・演習	体重移動に気を付けながらクロスフロア	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピルエット、ピケシエネが躊躇なくできる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				
時々ゴムやボールを使用				

科目名	ジャズ D-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の 学習内容	基本の姿勢の振り返り、ダンスの基礎から応用を学んでいく 振りを覚える						
到達目標	正しい姿勢の理解 基礎の大切さを伝える 振りを覚え、自分なりに踊ることができる						
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップ→コンビネーション	各自授業内容を復習
2		講義・演習	ウォームアップ→コンビネーション	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ロールアップ、ダウン、フラットバック	各自授業内容を復習
4		講義・演習	プリエ パラレル ターンアウト	各自授業内容を復習
5		講義・演習	指先の正しい使い方 タンデュ デガシエ	各自授業内容を復習
6		講義・演習	パッセの→バランス	各自授業内容を復習
7		講義・演習	パッセのバランスからピルエット	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ロンデジャンプ	各自授業内容を復習
9		講義・演習	パッセとロンデジャンプからのピケターン	各自授業内容を復習
10		講義・演習	片足プリエ→体重移動	各自授業内容を復習
11		講義・演習	体重移動に気を付けながらクロスフロア	各自授業内容を復習
12		講義・演習	ピルエット、ピケシエネ	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				
時々ゴムやボールを使用				

科目名	ジャズ E-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする					
到達目標	①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】			時々ゴムやボールを使用	

科目名	ジャズ E-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする					
到達目標	①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】			時々ゴムやボールを使用	

科目名	ジャズ F-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝葉 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年						
授業の 学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。 						
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】			時々ゴムやボールを使用	

科目名	ジャズ F-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺裕子 磯貝さゆり 久次亜希子 菊池朝菜 藪野資博 井上守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス歴 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の 学習内容	・クロスフロアを増やしたい。 ・長いコンビネーションをする					
到達目標	①テクニックの向上 ②自分で考え、人に見せることを前提としたダンスをすることが出来る。					
評価方法と 基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ウォームアップの確認	各自授業内容を復習
2		講義・演習	筋力アップ(筋トレのレベルアップ)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フラットバックから起きてルルベへ	各自授業内容を復習
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ 片足ブリエの強化・フォンデュ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ウォーキングの練習①	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ウォーキングの練習②	各自授業内容を復習
7		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ①	各自授業内容を復習
8		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ①	各自授業内容を復習
9		講義・演習	クロスフロア ロンデジャンプ②	各自授業内容を復習
10		講義・演習	クロスフロア ランベルヤ②	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アームスのポジションの安定	各自授業内容を復習
12		講義・演習	コンビネーションを正しく人に振りうつしが出来る	各自授業内容を復習
13		講義・演習	テスト	各自授業内容を復習
14		講義・演習	復習①	レポートの提出
15		講義・演習	復習②	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】		時々ゴムやボールを使用		

科目名	バレエA-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	ダンス&アクターズ科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	クラシックバレエの基礎を身につける。舞台人としての姿勢を学ぶ。					
到達目標	クラシックバレエの基礎を理解し、柔軟性・音楽性・表現力を高める。楽しく踊れるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	1年生で習得したバレエの基礎の確認	復習
2		講義・演習	軸のアンデオールの意識を高める	復習
3		講義・演習	動いている足のアンデオールを高める	復習
4		講義・演習	軸を意識し、上体や顔の付け方を学ぶ	復習
5		講義・演習	正しいアームスの使い方の必要性を学ぶ ビリエットを学ぶ	復習
6		講義・演習	ビリエットの質を高める アレグロのパを学ぶ	復習
7		講義・演習	ビリエット、アレグロをメインにした組み合わせを学ぶ	復習
8		講義・演習	アダージオの動きの流れや、上半身の使い方を学ぶ	復習
9		講義・演習	ターンの種類を知り、正しい回り方を学ぶ	復習
10		講義・演習	グランワルツ、ターンをメインにした組み合わせを学ぶ	復習
11		講義・演習	総括(アンデオールの意識を高めて楽しく踊る)	復習
12		講義・演習	実技試験のアンシェネマンを提示し、練習する	復習
13		講義・演習	試験 (2,3人ずつ踊り、身体の使い方、表現を見直す)	復習
14		講義・演習	課外授業	復習
15		講義・演習	課外授業	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】なし				

科目名	バレエA-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	クラシックバレエの基礎を身につける。舞台人としての姿勢を学ぶ。					
到達目標	クラシックバレエの基礎を理解し、柔軟性・音楽性・表現力を高める。楽しく踊れるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期で習得したバレエの基礎の確認	復習
2		講義・演習	オンジュ、フラッペ、グランパットマンの軸のアンデオールの意	復習
3		講義・演習	ダージオの軸の意識を高め、上半身やアームス、顔の付け方を学	復習
4		講義・演習	センターでのタンジュのアームス、上体の使い方を学ぶ	復習
5		講義・演習	ピルエットの質を高める	復習
6		講義・演習	ピルエットがメインの組み合わせを学ぶ	復習
7		講義・演習	アレグロの種類を学び、早い動きに対応できるように学ぶ	復習
8		講義・演習	アレグロがメインの組み合わせを学ぶ	復習
9		講義・演習	ターンの質を高める 軸の意識を高めてアンデオールで回る	復習
10		講義・演習	グランワルツ、ターンをメインにした組み合わせを学ぶ	復習
11		講義・演習	総括 (アンデオールの意識を高めて、楽しく踊る)	復習
12		講義・演習	実技試験のアンシェネマンを提示し、練習する	復習
13		講義・演習	試験 (2,3人ずつ踊り、身体の使い方、表現を見直す)	復習
14		講義・演習	課外授業	復習
15		講義・演習	課外授業	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】なし				

科目名	バレエB-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内容	エクササイズ、コンビネーション、クールダウン 全て呼吸を使って身体を動かし踊るための身体を作る。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸と連動して動けるようになる。 ・筋力と柔軟性を上げる。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					
授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	呼吸を意識する		復習	
2		講義・演習	身体のアライメントを理解する		復習	
3		講義・演習	エクササイズ1つ1つ、どこを使うかを考えて動かす。		復習	
4		講義・演習	筋感覚だけに集中(形に捉われない)		復習	
5		講義・演習	筋力と柔軟性を同時に意識する。		復習	
6		講義・演習	座位、ストレッチ(股関節周り意識)		復習	
7		講義・演習	体幹トレーニング(呼吸を伴う筋トレの中で)		復習	
8		講義・演習	アイソレーション(流されず部分部分を丁寧に)		復習	
9		講義・演習	ジャンプ足上げ(効果的に行えるようにする)		復習	
10		講義・演習	ターン(重心と軸を探る)		復習	
11		講義・演習	総括(エクササイズも振りも全て呼吸)		復習	
12		講義・演習	試験(見られている意識の中で発揮できる)		復習	
13		講義・演習	振り返り		復習	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出	
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出	
準備学習 時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	バレエB-4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴							
授業の学習内容	ストレッチ、バー、センター 常に呼吸を意識し、体重を感じるようにする。						
到達目標	バレエを通して、重心と軸を感じられるようになり、他のダンスにも応用できるようにする。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	呼吸を意識しストレッチから			復習	
2		講義・演習	アライメントを理解し、立ち方を学ぶ。			復習	
3		講義・演習	プリエ（関節を固めない）			復習	
4		講義・演習	プリエタンデュ（体重を感じることで重心を知る）			復習	
5		講義・演習	体重移動を身につける。			復習	
6		講義・演習	正しいターンアウト			復習	
7		講義・演習	ストレッチ、バー、センターの流れを学ぶ			復習	
8		講義・演習	方向（8つの方向）を学ぶ。			復習	
9		講義・演習	ポールドブラ（基本のアームズ）			復習	
10		講義・演習	エポールマン			復習	
11		講義・演習	試験			復習	
12		講義・演習	身体を総括的に意識し動かせるように。			復習	
13		講義・演習	今までの稽古の留意点を全て意識する。			復習	
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出	
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ			レポートの提出	
準備学習		時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	バレエC-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎訓練 応用練習	復習
2		講義・演習	基礎訓練 応用練習	復習
3		講義・演習	基礎訓練 基礎の徹底	復習
4		講義・演習	基礎訓練 反復練習	復習
5		講義・演習	基礎訓練 反復練習	復習
6		講義・演習	基礎訓練 振り付けの理解	復習
7		講義・演習	基礎訓練 パの意味	復習
8		講義・演習	基礎訓練 パの組み合わせ	復習
9		講義・演習	基礎訓練 音楽の理解	復習
10		講義・演習	基礎訓練 身体の理解	復習
11		講義・演習	基礎訓練 表現	復習
12		講義・演習	基礎訓練 空間の使い方	復習
13		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	バレエC-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックバレエの技術を身につける。 ・舞台人としての礼儀を学ぶ。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・プロとしてステージに通用するスキルを身につける。 ・オープンクラスの中級レベルが通用する技術・レベル。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	基礎訓練 応用練習		復習	
2		講義・演習	基礎訓練 応用練習		復習	
3		講義・演習	基礎訓練 基礎の徹底		復習	
4		講義・演習	基礎訓練 反復練習		復習	
5		講義・演習	基礎訓練 反復練習		復習	
6		講義・演習	基礎訓練 振り付けの理解		復習	
7		講義・演習	基礎訓練 パの意味		復習	
8		講義・演習	基礎訓練 パの組み合わせ		復習	
9		講義・演習	基礎訓練 音楽の理解		復習	
10		講義・演習	基礎訓練 身体の理解		復習	
11		講義・演習	基礎訓練 表現		復習	
12		講義・演習	基礎訓練 空間の使い方		復習	
13		講義・演習	基礎訓練 総合力		復習	
14		講義・演習	基礎訓練 総合力		復習	
15		講義・演習	基礎訓練 総合力		復習	
準備学習		時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	バレエD-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内容	基礎～応用の習得 立ち姿、手の動き、足運び					
到達目標	自身の身体と向き合い、体軸を確立 手足のスムーズな動きの習得 表現力の幅を広げる					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	基礎確認		復習	
2		講義・演習	軸と体幹の意識		復習	
3		講義・演習	軸と体幹の弱点強化		復習	
4		講義・演習	アンディオールを意識と体幹の連動		復習	
5		講義・演習	アームス上半身の使い方と呼吸		復習	
6		講義・演習	姿勢と重心移動		復習	
7		講義・演習	テクニックを含めた動き		復習	
8		講義・演習	ターン、ピルエットの質を高める		復習	
9		講義・演習	ワルツステップの習得と応用		復習	
10		講義・演習	ジャンプテクニックの質を高める		復習	
11		講義・演習	コンビネーション		復習	
12		講義・演習	音楽との連動		復習	
13		講義・演習	アンシェヌマンを覚え、発表(テスト)		復習	
14		講義・演習	基礎訓練 総合力		復習	
15		講義・演習	基礎訓練 総合力		復習	
準備学習 時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】						

科目名	バレエD-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鶴岡由佳子 谷崎千佳子 下島功佐
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴						
授業の学習内容	基礎～応用の習得 立ち姿、手の動き、足運び					
到達目標	自身の身体と向き合い、体軸を確立 手足のスムーズな動きの習得 表現力の幅を広げる					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎確認	復習
2		講義・演習	軸と体幹の意識	復習
3		講義・演習	重心移動の身体の使い方	復習
4		講義・演習	アームス上半身の使い方と呼吸	復習
5		講義・演習	ターン、ジャンプテクニックの質を高め	復習
6		講義・演習	ワルツやアダージオでの連動	復習
7		講義・演習	ダイナミックな動きの練習	復習
8		講義・演習	アンシェヌマンに合わせた表現力の向上	復習
9		講義・演習	音楽に合わせた緩急の使い方	復習
10		講義・演習	アレグロなどの対応	復習
11		講義・演習	ソロ ユールドでの空間の使い方	復習
12		講義・演習	バレエ作品への挑戦	復習
13		講義・演習	アンシェヌマンを覚え、発表(テスト)	復習
14		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
15		講義・演習	基礎訓練 総合力	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング					
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
2		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
3		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
4		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
5		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
6		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
7		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
8		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
9		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
10		講義・演習	基礎・ステップ・振付	復習
11		講義・演習	基礎・ステップ・振付	復習
12		講義・演習	基礎・ステップ・振付	復習
13		講義・演習	基礎・ステップ・振付	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	基礎となる身体の使い方や体力作りとステップ、表現トレーニング					
到達目標	自分の体の使い方を知り、タメや表現力を身に着ける					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
2		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
3		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
4		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
5		講義・演習	基礎トレーニング・リズム・振付	復習
6		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
7		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
8		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
9		講義・演習	基礎トレーニング・リズム応用・振付	復習
10		講義・演習	基礎・ステップ・振付	復習
11		講義・演習	基礎・ステップ・振付	復習
12		講義・演習	基礎・ステップ・振付	復習
13		講義・演習	基礎・ステップ・振付	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP B-3		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。						
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	今後のレッスンの説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
2		講義・演習	レッスン説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
3		講義・演習	基本リズム②、ステップ、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
4		講義・演習	基本リズム②、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
5		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
6		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
7		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
8		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
9		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
10		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
11		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
12		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
13		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
14		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
15		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HIPHOP B-4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年						
授業の学習内容	①Hip Hopのカルチャーの基本がオールドスクールにあるので、まずそのリズムの動きを知ることが大切。 ②全てのストリートダンスに繋がる原点。 ③社会人として常識のある人になって欲しい。そこからダンス界に羽ばたいて欲しい。						
到達目標	①1年生の間に基本的な身体作り、リズムコントロールが出来るようにする ②基礎トレーニングの実施。自宅でも出来るトレーニングのレクチャー ③聞く曲が偏らないよう色々なジャンルを聞けるようになる。またレッスンでも使用する。 ④言葉使いの徹底、挨拶						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	今後のレッスンの説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
2		講義・演習	レッスン説明、基本リズム①、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
3		講義・演習	基本リズム②、ステップ、軽い振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
4		講義・演習	基本リズム②、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
5		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
6		講義・演習	基本リズム③、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
7		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
8		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
9		講義・演習	基本リズム④、ステップ、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
10		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
11		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
12		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
13		講義・演習	基本リズム①～④、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
14		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
15		講義・演習	基本リズムのテスト、テクニック、振り	ストレッチ、ダンサー基礎トレーニング方法			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】							

科目名	HIPHOP C-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。) 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎 / 振付①	基礎トレーニング&振付の練習
2		講義・演習	基礎 / 振付①	基礎トレーニング&振付の練習
3		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
4		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
5		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
6		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
7		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
8		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
9		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
10		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
11		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
12		講義・演習	基礎 / 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習
13		講義・演習	基礎 / 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP C-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力の向上。 ・「音を聞くこと。表現力。覚える力。」を振付の中で養う。 ・ストレッチ→基礎→振付(基本的な授業の流れ。) 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カウントを音楽に変換し、踊れるようになる。 ・振付を自分の踊りに変換して、踊ることができる。 ・素早く振付を覚える。 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基礎 / 振付①	基礎トレーニング&振付の練習
2		講義・演習	基礎 / 振付①	基礎トレーニング&振付の練習
3		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
4		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
5		講義・演習	基礎 / 振付②	基礎トレーニング&振付の練習
6		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
7		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
8		講義・演習	基礎 / 振付③	基礎トレーニング&振付の練習
9		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
10		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
11		講義・演習	基礎 / 振付④	基礎トレーニング&振付の練習
12		講義・演習	基礎 / 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習
13		講義・演習	基礎 / 振付⑤	基礎トレーニング&振付の練習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP D-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	ダンス業界又はエンターテインメント業界で卒業後稼いで行くために必要なスキル、基礎知識だったバックダンサーはもちろん自分という存在が主体となり求められるダンサー、振付師になれる授業をする。					
到達目標	日本国内は勿論世界でも通用するような技術やパフォーマンス力を習得する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーション、基礎体力を身に付ける	筋トレ、体幹、アイソレーション
2		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション
3		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション
4		講義・演習	振りを覚えるスピードを上げる	筋トレ、体幹、アイソレーション
5		講義・演習	振りを覚えそれをパフォーマンスする力をつける	筋トレ、体幹、アイソレーション
6		講義・演習	緩急などをつけそれをパフォーマンスできるようにする	筋トレ、体幹、アイソレーション
7		講義・演習	スキルチェック	筋トレ、体幹、アイソレーション
8		講義・演習	ソロでも萎縮しないパフォーマンス力の習得する	筋トレ、体幹、アイソレーション
9		講義・演習	ステージでのパフォーマンスの仕方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション
10		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション
11		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の向上	筋トレ、体幹、アイソレーション
12		講義・演習	自分らしさの表現の追求	筋トレ、体幹、アイソレーション
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP D-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	ダンス業界又はエンターテインメント業界で卒業後稼いで行くために必要なスキル、基礎知識だったバックダンサーはもちろん自分という存在が主体となり求められるダンサー、振付師になれる授業をする。					
到達目標	日本国内は勿論世界でも通用するような技術やパフォーマンス力を習得する。					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アイソレーション、基礎体力を身に付ける	筋トレ、体幹、アイソレーション
2		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション
3		講義・演習	音を正確に捉えて身体を使えるようになる	筋トレ、体幹、アイソレーション
4		講義・演習	振りを覚えるスピードを上げる	筋トレ、体幹、アイソレーション
5		講義・演習	振りを覚えそれをパフォーマンスする力をつける	筋トレ、体幹、アイソレーション
6		講義・演習	緩急などをつけそれをパフォーマンスできるようにする	筋トレ、体幹、アイソレーション
7		講義・演習	スキルチェック	筋トレ、体幹、アイソレーション
8		講義・演習	ソロでも萎縮しないパフォーマンス力の習得する	筋トレ、体幹、アイソレーション
9		講義・演習	ステージでのパフォーマンスの仕方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション
10		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の習得	筋トレ、体幹、アイソレーション
11		講義・演習	振り付けの中での魅せ方の向上	筋トレ、体幹、アイソレーション
12		講義・演習	自分らしさの表現の追求	筋トレ、体幹、アイソレーション
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP E-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ●踊るための体作り ●様々な体の使い方を学ぶ ●音に合わせて自由に踊る ●コンビネーションを踊る ●業界やそれぞれの道で何が必要とされるか講義と実技 ●助言や生徒同士の意見から自分を見つめ自分を知る 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●踊り全般に通用する体を作る ●音楽を聴く事、音楽を聴いて自然と体を動かす事に慣れる ●自分の理想通り踊れるようにする ●仕事の出来る人間、人から仕事を与えたいと思われる人間になる ●踊りや体型、人間性も含め自分を知る 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、レベルチェック、授業の説明	基礎トレーニング&振付の練習
2		講義・演習	体幹を意識した筋肉トレーニングやストレッチ	基礎トレーニング&振付の練習
3		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習	基礎トレーニング&振付の練習
4		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習。またそれらを使った応用(振り)	基礎トレーニング&振付の練習
5		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習。またそれらを使った応用(振り)	基礎トレーニング&振付の練習
6		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
7		講義・演習	ポージングの練習と研究	基礎トレーニング&振付の練習
8		講義・演習	音に合わせて自由にリズムをとる練習	基礎トレーニング&振付の練習
9		講義・演習	音に合わせて自由にリズムをとる練習	基礎トレーニング&振付の練習
10		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
11		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
12		講義・演習	テストの振り渡し	基礎トレーニング&振付の練習
13		講義・演習	テスト	基礎トレーニング&振付の練習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HIPHOP E-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 関根彩乃 田中英輔 相沢圭祐
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	ダンサー・講師歴23年/6年					
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ●踊るための体作り ●様々な体の使い方を学ぶ ●音に合わせて自由に踊る ●コンビネーションを踊る ●業界やそれぞれの道で何が必要とされるか講義と実技 ●助言や生徒同士の意見から自分を見つめ自分を知る 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ●踊り全般に通用する体を作る ●音楽を聴く事、音楽を聴いて自然と体を動かす事に慣れる ●自分の理想通り踊れるようになる ●仕事の出来る人間、人から仕事を与えたいと思われる人間になる ●踊りや体型、人間性も含め自分を知る 					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介、レベルチェック、授業の説明	基礎トレーニング&振付の練習
2		講義・演習	体幹を意識した筋肉トレーニングやストレッチ	基礎トレーニング&振付の練習
3		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習	基礎トレーニング&振付の練習
4		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習。またそれらを使った応用(振り)	基礎トレーニング&振付の練習
5		講義・演習	基礎的な体の使い方や動作の説明&練習。またそれらを使った応用(振り)	基礎トレーニング&振付の練習
6		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
7		講義・演習	ポージングの練習と研究	基礎トレーニング&振付の練習
8		講義・演習	音に合わせて自由にリズムをとる練習	基礎トレーニング&振付の練習
9		講義・演習	音に合わせて自由にリズムをとる練習	基礎トレーニング&振付の練習
10		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
11		講義・演習	場ミリやフォーメーションを意識した振り	基礎トレーニング&振付の練習
12		講義・演習	テストの振り渡し	基礎トレーニング&振付の練習
13		講義・演習	テスト	基礎トレーニング&振付の練習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Freestyle A-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	インストラクター10年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義と演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義と演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義と演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義と演習	研修	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義と演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義と演習	アイソレーション、複数のパーツを同時により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義と演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義と演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義と演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義と演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義と演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義と演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
13		講義と演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
14		講義と演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
15		講義と演習	イベント週	前回の復習・レッスン後のアフターケア
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Freestyle A-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	インストラクター10年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーパルクューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	研修	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義と演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
13		講義と演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
14		講義と演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
15		講義と演習	イベント週	前回の復習・レッスン後のアフターケア
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

科目名	Freestyle B-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩崎浩太郎
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	インストラクター10年						
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」						
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	研修	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時により複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
13		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
14		講義・演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
15		講義・演習	イベント週	前回の復習・レッスン後のアフターケア
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

科目名	Freestyle B-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 岩崎浩太郎
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	インストラクター10年					
授業の学習内容	「基礎体力の向上、怪我をしない身体作り、身体のパーツの使い方の研究」 「Freestyleというジャンルを通して魅せ方も意識できるようにしていきたい。」 「毎週のレッスンの中でストレッチ、筋トレ、アイソレーションをビジュアルキューイング、バーバルキューイングにてしっかり指導を行う。」					
到達目標	「1.挨拶やスタジオの使い方などレッスンを受ける姿勢を理解し、実行できる。2.怪我をしない身体作りを理解できる。3.身体のパーツの使い方を理解し使える。」					
評価方法と基準	実技テストによる採点100%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演習を受ける姿勢、ストレッチの仕方を理解する。	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	インナーマッスルの必要性を理解する。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
3		講義・演習	アイソレーション、上半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
4		講義・演習	修学旅行	前回の復習・レッスン後のアフターケア
5		講義・演習	アイソレーション、下半身の動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
6		講義・演習	アイソレーション、複数のパーツを同時に複雑な動かし方の研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
7		講義・演習	リズムトレーニング、アイソレをリズムに合わせて使う研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
8		講義・演習	上記の内容を生かした振りの研究。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
9		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
10		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
11		講義・演習	テストに向けた振りを覚える。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
12		講義・演習	テストに向けた振りをより深く落とし込む。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
13		講義・演習	テスト	前回の復習・レッスン後のアフターケア
14		講義・演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	前回の復習・レッスン後のアフターケア
15		講義・演習	イベント週	前回の復習・レッスン後のアフターケア
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

科目名	コンテンポラリー3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー。経験年数30年						
授業の学習内容	動きの質を高め、アカデミックでダイナミックな動き学ぶ。メンタル面の強化のための講義等する。 (動きのクオリティーを高めるには、思考の使い方が大切です)						
到達目標	動きのクオリティーの向上を図る。メンタル面の強化を図る。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART2ストレッチ、ムーブメント①、フロアーテクニック・ジャンプ①	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアーテクニック・ジャンプ②	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
3		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアーテクニック・ジャンプ③	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
4		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアーテクニック・ジャンプ④	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
5		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアーテクニック・ジャンプ⑤	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
6		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアーテクニック・ジャンプ⑥	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
7		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアーテクニック・ジャンプ⑦	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
8		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアーテクニック・ジャンプ⑧	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
9		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアーテクニック・ジャンプ⑨	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
10		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアーテクニック・ジャンプ⑩	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
11		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアーテクニック・ジャンプ⑪	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
12		講義・演習	成長のプロセス講義(日程変更あり)	筆記用具持参
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	反省と今後の対策
15		講義・演習	イベント週	反省と今後の対策
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

科目名	コンテンポラリー4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	能美健志
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師・振付家・ダンサー。経験年数30年						
授業の学習内容	骨格の在り方、姿勢、筋肉の使い方を深め、動きの思考の連動を高める。 (骨と筋肉の連動が大切です) 付法の講義。(振付、構成法を学ぶ事で可能性を広げる)						振
到達目標	強く柔らかな身体を目指し、正しい動き方を修得する。振付の向上。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	PART1ストレッチ、ムーブメント①、フロアーテックニック・ジャンプ①	レッスン後のアフターケア
2		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント②、フロアーテックニック・ジャンプ②	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
3		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント③、フロアーテックニック・ジャンプ③	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
4		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント④、フロアーテックニック・ジャンプ④	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
5		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑤、フロアーテックニック・ジャンプ⑤	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
6		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑥、フロアーテックニック・ジャンプ⑥	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
7		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑦、フロアーテックニック・ジャンプ⑦	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
8		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑧、フロアーテックニック・ジャンプ⑧	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
9		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑨、フロアーテックニック・ジャンプ⑨	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
10		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑩、フロアーテックニック・ジャンプ⑩	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
11		講義・演習	エクササイズ、ストレッチ、ムーブメント⑪、フロアーテックニック・ジャンプ⑪	前回授業復習(理解力と創造力) ・ストレッチ等
12		講義・演習	振付法の講義	筆記用具持参
13		講義・演習	実技試験	試験結果の反省と今後の対策
14		講義・演習	テストを振り返り各自次のステップへの目標を立てる。	反省と今後の対策
15		講義・演習	イベント週	反省と今後の対策
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル体幹理論、コードプリント、発声に関するオリジナルプリント、既存の楽曲の歌詞と楽譜とハーモニー譜				

科目名	テーマパークA-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介でのアピール方法	自分の目標を確認する
2		講義・演習	ストレッチの仕方、筋肉のトレーニング方法	ストレッチ・筋トレ
3		講義・演習	基本のテクニック (ターンの方法1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
4		講義・演習	基本のテクニック (ターンの方法2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
5		講義・演習	基本のテクニック (シェネ・ピケターン1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
6		講義・演習	基本のテクニック (シェネ・ピケターン2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
7		講義・演習	基本のテクニック (ロンデジャンプ)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
8		講義・演習	基本のテクニック (アチチュードターン)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
9		講義・演習	基本のテクニック (バットマン)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	習得したテクニックをクロスフロアで行う	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×2程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	8×4程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	試験 (ピルエット・バットマン・コンビネーション)	前週のコンビネーションを練習して試験へ
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークA-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ターン3 (ペアテ) の方法	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
2		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	前週のコンビネーションを踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	3人ほどの小グループに分けて踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	間違えずに自分の踊りにして踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	3人ほどの小グループで自己アピールしながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	自己アピールしながら間違えずに踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	試験 (ビルエット・バットマン・コンビネーション)	試験での反省を踏まえて目標を確認する。
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介でのアピール方法	自分の目標を確認する
2		講義・演習	ストレッチの仕方、筋肉のトレーニング方法	ストレッチ・筋トレ
3		講義・演習	基本のテクニック (ターンの方法1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
4		講義・演習	基本のテクニック (ターンの方法2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
5		講義・演習	基本のテクニック (シェネ・ピケターン1)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
6		講義・演習	基本のテクニック (シェネ・ピケターン2)	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
7		講義・演習	基本のテクニック (ロンデジャンプ)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
8		講義・演習	基本のテクニック (アチチュードターン)	ストレッチ・筋トレ・ターンの練習・今日の復習
9		講義・演習	基本のテクニック (バットマン)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	習得したテクニックをクロスフロアで行う	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×2程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	8×4程度のコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	試験 (ビルエット・バットマン・コンビネーション)	前週のコンビネーションを練習して試験へ
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークB-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ターン3 (ペアテ) の方法	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
2		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	前週のコンビネーションを踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	表情など自己表現しながら踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	3人ほどの小グループに分けて踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	間違えずに自分の踊りにして踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	3人ほどの小グループで自己アピールしながら踊る。③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	8×8のコンビネーションを覚える。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	自己アピールしながら間違えずに踊る。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	試験 (ビルエット・バットマン・コンビネーション)	試験での反省を踏まえて目標を確認する。
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	テーマパークC-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	バレエを基礎として、テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す。						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。 (3)現場で即戦力になるスキルを身につける						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本テクニックの確認①	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
2		講義・演習	基本テクニックの確認②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	動きを大きく魅せることができる	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	鏡無しで振付が覚えられる	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	自分の弱点が発見できる	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	振付が早く覚えられる	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	振りを間違えず踊ることができる①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	振りを間違えず踊ることができる②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	自分なりの表現で踊ることができる	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	踊りで自己アピールできる	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	振付を完璧に、自分らしく踊ることができる	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	自信をもって堂々と踊ることができる	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	試験実施	試験での反省を踏まえて目標を確認する。
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
オーディションを想定したレオタード・髪型・メイクで受講してください。				

科目名	テーマパークC-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	南山光徳 竹内ゆかり
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	幼稚園教員2級、テーマパークダンサー・ダンス講師歴15年						
授業の学習内容	バレエを基礎として、テーマパークのパフォーマーに必要な基礎力、テクニックを身につけ、オーディション合格を目指す。						
到達目標	(1)オーディション合格のために必要不可欠なテクニックを習得する。 (2)表情、見せ方など自らの表現が出来るようになる。 (3)現場で即戦力になるスキルを身につける						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	各テーマパークに沿った表現が出来る①	ストレッチ・筋トレ・今日の復習
2		講義・演習	各テーマパークに沿った表現が出来る②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	各テーマパークに沿った表現が出来る③	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	各テーマパークに沿った表現が出来る④	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	より高度なテクニックを習得する	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	今まで習得したテクニックの向上を強化する	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	曲のイメージを踊りで表現できる	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	ストーリー性のある曲で役を演じることができる①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	ストーリー性のある曲で役を演じることができる②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	長いコンビネーションを早く覚えることができる	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	ポジションをつけて大人数で踊るときの注意点を理解する	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	踊ることの楽しさを伝えることができる	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	試験実施	試験での反省を踏まえて目標を確認する。
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
オーディションを想定したレオタード・髪型・メイクで受講してください。				

科目名	ボイストレーニングA-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ボイストレーニングA-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ボイストレーニングB-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	シンガー14年/30年					
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく					
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ボイストレーニングB-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	シンガー14年/30年					
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく					
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ボイストレーニングC-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ボイストレーニングC-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ボイストレーニングD-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	シンガー14年/30年					
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく					
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ボイストレーニングD-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	シンガー14年/30年					
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく					
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ボイストレーニングE-3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	ボイストレーニングE-4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	塚脇千賀子 鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	シンガー14年/30年						
授業の学習 内容	1.歌うために必要不可欠な身体の仕組みと呼吸を学ぶ為 2.ダンスとうたは身体の使い方が密接に関係しているので双方にメリットがある 3.この授業を通して歌って踊ってもブレない疲れにくい身体と呼吸を作り上げて欲しい 4.オリジナルの基本姿勢と発声を細かく一人一人のコンディションに合わせて展開していく						
到達目標	1.オリジナルの体幹理論により姿勢、発声を矯正しより良いパフォーマンスが可能となる 2.Dance&Singに必要な呼吸法を学ぶ事によりクオリティの高い歌唱ができるようになる 3.最終的にDance&Singでブレない声と疲れにくい身体とキレのあるダンスができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	姿勢と発声	発声・音感トレーニング
2		講義・演習	歌唱に寄る個人の声のチェック	発声・音感トレーニング
3		講義・演習	前週の歌唱を細かく矯正	発声・音感トレーニング
4		講義・演習	音域チェックと発声	発声・音感トレーニング
5		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
6		講義・演習	マイキング	発声・音感トレーニング
7		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
8		講義・演習	ダンスをしながらマイキング矯正	発声・音感トレーニング
9		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
10		講義・演習	ダンスに必要な呼吸法と体幹理論	発声・音感トレーニング
11		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
12		講義・演習	テスト前の呼吸法と体幹理論と発声のチェック	発声・音感トレーニング
13		講義・演習	Dance&Singテスト	発声・音感トレーニング
14		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
15		講義・演習	振り返り、課題	発声・音感トレーニング
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
オリジナルのトライ体幹理論プリント				

科目名	Heels 3		必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関根 彩乃
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴								
授業の学習内容	自分と向き合い、短所と長所を知り個性を伸ばす。							
到達目標	Heels を履きながらバランスがとれた身体作りと表現力							
評価方法と基準	実技テストによる採点100%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	ストレッチへの理解①		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
2		講義・演習	ストレッチへの理解② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
3		講義・演習	筋力トレーニングへの理解①		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
4		講義・演習	筋力トレーニングへの理解② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
5		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす①		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
6		講義・演習	振り付けの中で基礎を活かす② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
7		講義・演習	表情をつけて表現する①		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
8		講義・演習	表情をつけて表現する② 応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
9		講義・演習	少人数に分け、さらに自分と向き合う。		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
10		講義・演習	テスト対策①		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
11		講義・演習	テスト週		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
12		講義・演習	テストの反省		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
13		講義・演習	後期に向けて復習		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	Heels 4		必修 選択	選択	年次	2	担当教員	関根 彩乃
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴								
授業の学習内容	対応力、個性などを発揮できるように							
到達目標	Heels を履きながらバランスがとれた身体作りと表現力							
評価方法と基準	実技テストによる採点100%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義・演習	前期の復習 (ストレッチ+ α)		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
2		講義・演習	前期の復習 (筋力トレーニング+ α)		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
3		講義・演習	短所と長所への理解①		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
4		講義・演習	短所と長所への理解②		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
5		講義・演習	1,2を意識してコンビネーションの中で応用		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
6		講義・演習	個性を磨く①		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
7		講義・演習	個性を磨く②		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
8		講義・演習	応用 (他のダンサーの良い所を見る)		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
9		講義・演習	振り覚え対策①		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
10		講義・演習	振り覚え対策②		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
11		講義・演習	テスト対策①		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
12		講義・演習	テスト対策②		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
13		講義・演習	テスト週		前週の復習。次週に向けての自主練習。			
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ		レポートの提出			
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	ジャズコンテ3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺祐子 鎌貝さゆり 久次亜希子菊地 朝葉 橋本知佐子
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ビルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。パットマンからピケシェネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シェネビルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	復習
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ジャズコンテ4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 渡辺祐子 鎌貝さゆり 久次亜希子菊地 朝葉 橋本知佐子
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)	
教員の略歴	JAZZダンス 17年・12年・18年・9年・26年					
授業の学習 内容	ベーシックなJazzダンスの内容。クラシックバレエの基礎も取り入れながら、JAZZで主に使われる技を練習、習得。曲でのコンビネーションによるダンス実施。					
到達目標	正しいウォーミングアップ、ストレッチによる体作り。基本的な知識、オーディションなどにも対応できるようにスキルを身に付けていく。早くて正確な振り覚えができるようになる。コンビネーションでは、曲に合わせた感情表現、踊りの魅せ方ができるようになる。					
評価方法と基準	実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業概要説明。ウォーミングアップ解説、ビルエット練習。	次週に向けての自主練習。
2		講義・演習	筋トレ レベルアップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
3		講義・演習	エクササイズの難度アップ フォンデュ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
4		講義・演習	エクササイズの難度アップ デベロップ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
5		講義・演習	ウォーキング	前週の復習。次週に向けての自主練習。
6		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。バットマンからピケシェネ	前週の復習。次週に向けての自主練習。
7		講義・演習	クロスフロアもコンビネーションでやる。半シェネビルエット	前週の復習。次週に向けての自主練習。
8		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
9		講義・演習	クロスフロア ソデバスクに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
10		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦①	前週の復習。次週に向けての自主練習。
11		講義・演習	クロスフロア ランベルセに挑戦②	前週の復習。次週に向けての自主練習。
12		講義・演習	コンビネーションを少人数で鏡無しで踊れる	前週の復習。次週に向けての自主練習。
13		講義・演習	テスト	
14		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
15		講義・演習	これまでやってきたことを復習	授業内容を自主練習
準備学習 時間外学習		個人での入念なストレッチ。授業内の不安点は個人で要復習、要練習。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body Fundamental 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	軽部裕美
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1)すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2)セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1)ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2)自分の身体を知ることでもがをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について(自分の身体を感じる)	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸(呼吸のしくみ、胸郭について)	自分がどのように呼吸をしているのかを感じる
5		講義・演習	腹筋(腹筋の種類と働き)	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤(機能、構造、動きについて)	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節(位置、どのように動くのか)	プリエやタンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝(機能、構造、動きについて)	柔らかいプリエやダウンの動きができているか
9		講義・演習	足(基盤としての足の構造、機能について)	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕(構造、動き、ポールドブラについて)	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨(機能、構造、体幹の動きについて)	身体の繋がりの中で動けているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Body Fundamental 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	軽部裕美
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	コンテンポラリーダンス教師、ダンサー、フランクリンメソッド公認エジュケーター						
授業の学習 内容	(1)すべてのジャンルのダンス、動きにも通用する身体の使い方を学ぶ (2)セルフケアを取り入れながらより良いパフォーマンスができる身体をつくる						
到達目標	(1)ダンサーとして必要な解剖学の基礎を学ぶことで身体の使い方を知る (2)自分の身体を知ることでもがをしにくく、効率の良い動きができるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	基本的な解剖学基礎、用語を学ぶ	身体の部位の名前を覚える
2		講義・演習	骨格、筋肉について(自分の身体を感じる)	各部位の名前を自分の身体で覚える
3		講義・演習	動くための姿勢	日常から姿勢を意識する
4		講義・演習	呼吸(呼吸のしくみ、胸郭について)	自分がどのように呼吸をしているのかを感じる
5		講義・演習	腹筋(腹筋の種類と働き)	腹筋のエクササイズを意識して行う
6		講義・演習	骨盤(機能、構造、動きについて)	骨盤がどのように使われているかに意識を向ける
7		講義・演習	股関節(位置、どのように動くのか)	プリエやタンジュ、動きの中でどのように使っているか
8		講義・演習	膝(機能、構造、動きについて)	柔らかいプリエやダウンの動きができているか
9		講義・演習	足(基盤としての足の構造、機能について)	土台として機能しているか
10		講義・演習	腕(構造、動き、ポールドブラについて)	ポールドブラを正しく使えているか
11		講義・演習	背骨(機能、構造、体幹の動きについて)	身体の繋がりの中で動いているか
12		講義・演習	前期試験	前期の授業内容を確認しておく
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	理解できていないこと、質問等をまとめておく
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	SWINGBOX
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	タップダンスの基礎ステップの習得 コンビネーション、クロスフロアでの練習 リズムトレーニング						
到達目標	舞台、ミュージカルでパフォーマンスできるようになる ひと通りのベーシックなステップを踏めるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	シャッフル・ブラッシュ・シムシャム	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	前回の復習、スウィングの練習	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	タイムステップ (トリプルまで)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	クロスフロア、スラップ、バックステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	プルバックの練習	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	ターン系のステップ練習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	今までの復習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	イーブンタイムステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	ローダウン	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	ローダウン	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	前期試験	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	授業のまとめ (試験返却、答え合わせ)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけではなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	TAP4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	SWINGBOX
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	タップダンスの応用ステップの習得 コンビネーション、クロスフロアでの練習 リズムトレーニング						
到達目標	舞台、ミュージカルでパフォーマンスできるようになる ひと通りのステップを踏めるようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	スウィングの強化①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	スウィングの強化②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	タイムステップ強化	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	スウィングのリズムでのコンビネーション②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	ターン系のステップ応用、コンビネーション①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	ターン系のステップ応用、コンビネーション②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	今までの復習、コンビネーション	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	イーブンタイムステップ	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	ローダウン①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	ローダウン②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	後期試験	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	授業のまとめ(試験返却、答え合わせ)	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			基本的には復習を重視。授業で学んだことを聞いただけでなくレッスンの中で自分の身体に落とし込むこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	クリエイション3(ダンス)		必修 選択	選択	年次	2	担当教員	日置望喜
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	ダンサーおよび指導18年							
授業の学習内容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうして作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかり守れる人材育成。 							
評価方法と基準	実技テストによる採点100%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	今後1年間の注意点など、リーダー決め、ユニット作成				筆記用具	
2		講義・演習	チェックのやり方の説明&実践、ユニット作成				筆記用具	
3		講義・演習	6/8,9の学祭に向けて ユニット作り、自分達で 作品を作り、毎週講師の HIYOがディレクションをし、 手直しを行う。			踊れる用意 筆記用具 本番近くには 衣装を用意		
4		講義・演習						
5		講義・演習						
6		講義・演習						
7		講義・演習	夏休み明けまでWe areに 動きが無いので、 トレーニング、様々なジャンル での基礎作り、場当たり方法 などレッスンする。					
8		講義・演習						
9		講義・演習						
10		講義・演習						
11		講義・演習						
12		講義・演習	ここからWe are作品作りに 向けて始動					
13		講義・演習						
14		講義・演習	We areの進行状況によって授業内容は 臨機応変に変える場合があります。					
15		講義・演習						
準備学習		時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	クリエイション4(ダンス)		必修 選択	選択	年次	2	担当教員	日置望喜
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	ダンサーおよび指導18年							
授業の学習内容	他のレッスンで磨いたスキルを活かして、学生どうして作品を作っていく。その際、技術だけでなく団結力、積極性、先見性、習慣性、モラル、コミュニケーション能力、ディレクション受け入れ能力、危機管理能力、問題を解決する能力、時間管理等の能力のスキルアップも求められることに少しずつ気付いていく。クリエイティブかつ、ディレクションの受けられる授業。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・モラルがあり、どんな人ともコミュニケーションの取れる人材を作る。 ・協調性を持って作品を創作できるように積極的な人材育成。 ・ダンサーとしてのスキルアップ&振り付けや作品作りのスキルアップ ・応用力や適応力、ハプニングに強い人材育成。 ・決められたルールや約束をしっかり守れる人材育成。 							
評価方法と基準	実技テストによる採点100%							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習	時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	We areに向けた正式ユニット作成			筆記用具		
2		講義・演習	We areに向けた正式ユニット打ち合わせ・実践			筆記用具		
3		講義・演習	We areに向けて ユニット作り、自分達で 作品を作り、毎週講師の HIYOがディレクションをし、 手直しを行う。			踊れる用意 筆記用具 本番近くには 衣装を用意		
4		講義・演習						
5		講義・演習						
6		講義・演習						
7		講義・演習						
8		講義・演習						
9		講義・演習						
10		講義・演習						
11		講義・演習						
12		講義・演習	We areに向けたホールリハーサル					
13		講義・演習	および、場当たり、本番					
14		講義・演習	We areのフィードバック					
15		講義・演習	卒業後の立ち振る舞いについてレポート・ナンバー作成					
準備学習		時間外学習						
【使用教科書・教材・参考書】								

科目名	HOUSE 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池田 卓
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を正しく理解し、HIP HOPなどにも共通するリズムやアームス、ボディコントロールなどを使いこなせるようにする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・HOUSEのベーシックな動き(体の止め方)を習得すること ・HOUSE特有のスピード感、タメ、止めを体現すること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎①(ベーシックムーブ)	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE基礎②(ベーシックムーブ応用)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	リズム&アイソレーション	各自授業内容を復習
4		講義・演習	リズム&ベーシックムーブ	各自授業内容を復習
5		講義・演習	コンビネーション	各自授業内容を復習
6		講義・演習	"遊び"を混ぜる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フロアを混ぜる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	アクロバットを混ぜる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			YoutubeなどでHOUSEを観る。知る。触れる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	HOUSE 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	池田 卓
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	HOUSEの基礎を使い、個性的に踊りこなせるように指導をする						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・振付は勿論、フリーでもHOUSEを踊れるようにすること ・様々曲調に対応したHOUSEができるようになること 						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	HOUSE基礎の復習	各自授業内容を復習
2		講義・演習	HOUSE応用 (ステップの変化)	各自授業内容を復習
3		講義・演習	HOUSE応用 (リズムの変化)	各自授業内容を復習
4		講義・演習	フリーで踊ろう	各自授業内容を復習
5		講義・演習	ゲーム形式で踊ろう	各自授業内容を復習
6		講義・演習	オリジナルムーブを作ろう	各自授業内容を復習
7		講義・演習	ここまでのまとめ	各自授業内容を復習
8		講義・演習	HOUSE基礎～応用	各自授業内容を復習
9		講義・演習	模擬バトル	各自授業内容を復習
10		講義・演習	試験の課題を提示	各自授業内容を復習
11		講義・演習	試験に向けての指導	各自授業内容を復習
12		講義・演習	プレ試験	各自授業内容を復習
13		講義・演習	試験	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石田 創
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	BREAKIN13年 ブレイクダンス日本代表 w-inds.バックダンサー等						
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではなく身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		講義・演習	基本的なステップムーブの応用・実践	各自授業内容を復習
3		講義・演習	チェアー・スピンの応用・実践	各自授業内容を復習
4		講義・演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		講義・演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		講義・演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		講義・演習	フリーズの種類を応用・実践	各自授業内容を復習
9		講義・演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		講義・演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン)の実践	各自授業内容を復習
11		講義・演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習		授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BREAKIN4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石田 創
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	BREAKIN13年 ブレイクダンス日本代表 w-inds./バックダンサー等						
授業の学習 内容	ブレイクダンサーにとって必要な身体作り、フロアムーブを中心に、フットワーク、フリーズ、ムーブメントの知識を取り入れ次実践。必要なメソッドの習得、またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	ブレイクダンスはstreet danceだけではな身体作り・筋肉トレーニングが取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ブレイクダンスに必要なストレッチ法の習得	各自授業内容を復習
2		講義・演習	基本的なステップムーブの応用・実践	各自授業内容を復習
3		講義・演習	チェアー・スピンの応用・実践	各自授業内容を復習
4		講義・演習	トップロックまでの振付をスムーズに行う	各自授業内容を復習
5		講義・演習	フットワーク・6ステップの実践	各自授業内容を復習
6		講義・演習	バックスピンの実践	各自授業内容を復習
7		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
8		講義・演習	フリーズの種類を応用・実践	各自授業内容を復習
9		講義・演習	チェアー・エアチェアー・マックス・ジョーダン(片手フリーズ系)	各自授業内容を復習
10		講義・演習	倒立・ラビット・片手ラビット(ステッピン)の実践	各自授業内容を復習
11		講義・演習	マカコ・バク転の実践	各自授業内容を復習
12		講義・演習	これまでの流れを取り入れた振付・実践	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業外でもセッションを行ったり、とにかく実践すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭 平
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなくjazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		講義・演習	タイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		講義・演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ティックキングが実践できる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ブガルーステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		講義・演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	POP 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西野 恭 平
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ダンサーにとって必要な身体作り、street dance 特にPOPPIN DANCEに必要なメソッドの習得、 またソロアプローチ方やインプロテクニックを学ぶ						
到達目標	Poppinはstreet danceだけではなくjazzやコンテンポラリーにも多く取り入れられているので幅の広いダンステクニックを習得する						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ヒットが実践できる	各自授業内容を復習
2		講義・演習	タイムストップが実践できる	各自授業内容を復習
3		講義・演習	ハンドウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
4		講義・演習	ボディウェーブが実践できる	各自授業内容を復習
5		講義・演習	キングコブラが実践できる	各自授業内容を復習
6		講義・演習	ティックングが実践できる	各自授業内容を復習
7		講義・演習	フローティングが実践できる	各自授業内容を復習
8		講義・演習	ブガルーリズムが実践できる	各自授業内容を復習
9		講義・演習	ブガルーステップが実践できる	各自授業内容を復習
10		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
11		講義・演習	アニメーションが実践できる	各自授業内容を復習
12		講義・演習	インプロが実践できる	各自授業内容を復習
13		講義・演習	振付けられた振りとインプロが実践できる	各自授業内容を復習
14		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	井上 守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 マットを利用して基礎的なマット運動から始めて徐々に高難度のタンブリング系の技の練習を行う。 アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が望めるので他のダンスや実技クラスにも活かせる。 具体的に技を習得することの達成感や、難しいことにも繰り返し挑戦する意義を学ぶ。</p>						
到達目標	技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、表現力の幅を広げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容、注意事項の説明。マット運動の基礎練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	前方転回のバリエーションを習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	前方転回のバリエーションを習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	前方転回、側宙の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	前方転回、側宙の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	前方転回、側宙、バック転の説明と練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	基礎練習、前方転回練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	実技試験。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
15		講義・演習	前期のまとめ、バック転の練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
準備学習 時間外学習			基礎トレーニング、体験トレーニングを随時行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクロバット4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	井上 守
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>特殊技能であるアクロバットを習得するのが目的。 基礎マット運動、タンブリング系に加え、カポエイラやトリッキングなどの動きを取り入れた練習を行う。 アクロバット習得に必要な基礎トレーニングを重ねることによって、身体能力の向上が望めるので他のダンスや実技クラスにも活かせる。 具体的に技を習得することの達成感や、難しいことにも繰り返し挑戦する意義を学ぶ。</p>						
到達目標	技の習得やアクロバット技術への理解を深めることにより、表現力の幅を広げる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業内容、注意事項の説明。マット運動の基礎練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
2		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
3		講義・演習	マット運動の基礎練習、倒立、側転を習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
4		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
5		講義・演習	基礎練習、ロンダートを理解、習得する。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
6		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
7		講義・演習	側転の応用、前方転回(ハンドスプリング)を習得する②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
8		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の説明と練習。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
9		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
10		講義・演習	前方転回、側宙、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
11		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
12		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
13		講義・演習	実技試験。	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
14		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。①	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
15		講義・演習	応用技の練習、バク転の練習。②	ストレッチ・筋トレ・基本テクニック復習
準備学習 時間外学習			基礎トレーニング、体験トレーニングを随時行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ3A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	元吉庸泰
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	オーディションなどに提出できる映像を完成させる。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像制作を学ぶ意味と映像の基礎知識	今後自分の作っていききたい動画構成を考える
2		講義・演習	映像の種類と制作に向けての考え方、参考映像鑑賞	アンケート(各生徒の好み)
3		講義・演習	編集ソフトの基礎(設定・素材取り込み・カット編集・書き出し)	動画素材の準備
4		講義・演習	チームで撮影(ダンス・演技)	企画構成のイメージ
5		講義・演習	撮影したものを編集(音楽当て、同期、差し替え)	基本テクニック復習
6		講義・演習	編集応用1(フェードインアウト、明るさ、色調整)	基本テクニック復習
7		講義・演習	編集応用2(キーフレーム、ズームインアウト、可変)	基本テクニック復習
8		講義・演習	おさらい	基本テクニック復習
9		講義・演習	企画構成基礎(タイトル画面、自己紹介、ダンスや演技)	レポート(プロフィール映像の構成)
10		講義・演習	編集応用3(テロップ入れ)	基本テクニック復習
11		講義・演習	プロフィール映像制作(撮影・編集)	基本テクニック復習
12		講義・演習	プロフィール映像制作(撮影・編集)	基本テクニック復習
13		講義・演習	課題発表	プレゼン準備
14		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ4A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	元吉庸泰
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	映像を制作するための考え方や段取り・編集技術の基礎といったような作り手の意識を身につけ、 これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	企画構成や撮影をするための考え方や編集ソフトの使い方に慣れてもらい簡単なプロフィール映像の制作をする。 オーディションなどに提出できる映像を完成させる。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	映像の基礎知識、制作チーム決め	今後自分の作っていききたい動画構成を考える
2		講義・演習	ブレインストーミング	基本テクニック復習
3		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる①	基本テクニック復習
4		講義・演習	映像の基礎知識を学ぶ	基本テクニック復習
5		講義・演習	自分と映像をリンクさせて踊ることができる②	基本テクニック復習
6		講義・演習	制作工程を学び実践できる	基本テクニック復習
7		講義・演習	自分のシルエットと踊ることができる	基本テクニック復習
8		講義・演習	シルエット制作をすることができる	基本テクニック復習
9		講義・演習	自分とシルエットをリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
10		講義・演習	ステージ表現を学び実践することができる	基本テクニック復習
11		講義・演習	図形を動かすことができる	基本テクニック復習
12		講義・演習	図形を制作することができる	基本テクニック復習
13		講義・演習	自分と図形をリンクさせて踊ることができる	基本テクニック復習
14		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通してテクノロジーを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	産学連携ゼミ3B	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	元吉庸泰 他
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	舞台演出の視点から、これからの芸能界で活躍する俳優・声優になるために必要となる人間力・基礎力などを身に付け、これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	即オーディションで、披露できるレベルの台本読解力と演技力を見につける。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	これから活躍する俳優に必要な要素 脚本読解の基礎	課題の実施、次週発表
2		講義・演習	演じるとは何か?	課題の実施、次週発表
3		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解①	課題の実施、次週発表
4		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解②	課題の実施、次週発表
5		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解③	課題の実施、次週発表
6		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解④	課題の実施、次週発表
7		講義・演習	演出とはなにか	課題の実施、次週発表
8		講義・演習	演出プランの構築①	課題の実施、次週発表
9		講義・演習	演出プランの構築②	課題の実施、次週発表
10		講義・演習	演出プランの構築③	課題の実施、次週発表
11		講義・演習	演出プランの構築④	課題の実施、次週発表
12		講義・演習	作品発表・プレゼンテーション	課題の実施、次週発表
13		講義・演習	前期まとめ「演出技能を備えた役者とは？」	課題の実施、次週発表
14		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			指定された脚本について読み込む、脚本読解をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
随時配布される脚本				

科目名	産学連携ゼミ4B	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	元吉庸泰
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	舞台演出家16年 舞台「ソーホーシンダース」「僕のヒーローアカデミア」など演出						
授業の学習 内容	舞台演出の視点から、これからの芸能界で活躍する俳優・声優になるために必要となる演技の技術・応用力などを身に付け、これからの時代に対応した自ら発信し自分をより良く表現できる演者を目指す。						
到達目標	演出を学ぶことで、演劇の構造を知り、興行の構造を知る。 選ばれる俳優になるための戦略を立てられるようになる。 演出家の意図を読み取り、提案できる俳優を目指す。 即オーディションで、披露できるレベルの台本読解力と演技力を見につける。						
評価方法と基準	課題と実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2-①	課題の実施、次週発表
2		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2-②	課題の実施、次週発表
3		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2-③	課題の実施、次週発表
4		講義・演習	戯曲研究・リーディングの実践と読解2-④	課題の実施、次週発表
5		講義・演習	演出プラン実習①	課題の実施、次週発表
6		講義・演習	演出プラン実習②	課題の実施、次週発表
7		講義・演習	演出プラン実習③	課題の実施、次週発表
8		講義・演習	演出プラン実習④	課題の実施、次週発表
9		講義・演習	美術の発注と実際	課題の実施、次週発表
10		講義・演習	劇場・ホールと予算の実際	課題の実施、次週発表
11		講義・演習	衣裳発注の実際	課題の実施、次週発表
12		講義・演習	キャスティングの実際	課題の実施、次週発表
13		講義・演習	発表と考察	課題の実施、次週発表
14		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
15		講義・演習	イベント実践を通して演出を学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			授業内での編集技術を復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	発声滑舌3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。教員歴8年						
授業の学習 内容	身につけた発声・滑舌を元実践的なオーディション原稿を使つての演習と講義を行います。 現場に出ても技術を研鑽し続けられる精神力を鍛えます。						
到達目標	表現力の向上、他人の良いところを盗み、悪いところを自身の技術向上に役立てるように反映させられるようになる。 声優プロダクションへの所属を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	発声・滑舌のおさらい。 1年次の復習 腹式呼吸や滑舌練習、外郎売など	滑舌を意識した外郎売の練習
2		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ1 ボイスサンプル課題について考えてみる	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
3		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ2 自分に合うキャラクターとその発声	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
4		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ3 他人の演習から、自分のキャラクターをつかむ	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
5		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ4 所属を希望する事務所に合わせたボイスサンプルについて	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
6		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ5 ナレーション原稿に必要な発声滑舌	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
7		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ6 企業課題へのアドバイス	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
8		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ7 企業課題でのフィードバックを踏まえた練習法	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
9		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ8 初見読みについて	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
10		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ9 初見読み実践	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
11		講義・演習	テスト。セリフや詩などの原稿を当日配布。自分なりに解釈して披露。	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
12		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ10 初見読みを通じ、自身の弱点を知る	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
13		講義・演習	オーディション原稿などの読み合わせ11 後期に向けた課題	滑舌を意識した外郎売の練習 課題トレーニング
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			腹式呼吸。滑舌練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	発声滑舌4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	声優として新世紀エヴァンゲリオン(相田ケンスケ役)・遊☆戯☆王デュエルモンスターズ(マリク役)・魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久役)などに出演。TSMIにて発声滑舌演技講師 8年						
授業の学習 内容	発声、滑舌、外郎売り、朗読、台詞の訓練を行います。 歌舞伎の台本である「外郎売」を通じて、発声・滑舌の必要性和、感情解放のコツをつかみます。 繰り返し演習を行い、また、クラスメイトの課題も自身のものにできる人材を育てます。						
到達目標	声優(俳優)の基礎である発声・滑舌を学び、表現力への一歩を踏み出せるようになる。 他人の良いところを盗み、悪いところを自身の技術向上に役立てるように反映させられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	声優・俳優という職業について 授業内容についての説明・自己紹介	腹式呼吸の練習
2		講義・演習	腹式呼吸① 自己解放とは 外郎売りについて歴史から学ぶ	腹式呼吸の練習
3		講義・演習	腹式呼吸② 自己解放ワーク 外郎売り①イントネーションを確認する	腹式呼吸の練習
4		講義・演習	腹式呼吸③ 自己解放ワーク 外郎売り②イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
5		講義・演習	腹式呼吸④ 自己解放ワーク 外郎売り③イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
6		講義・演習	腹式呼吸⑤ 自己解放ワーク 外郎売り④イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
7		講義・演習	腹式呼吸⑥ 自己解放ワーク 外郎売り⑤イントネーションを確認する	腹式呼吸の暗記
8		講義・演習	腹式呼吸⑦ 自己解放ワーク 外郎売り前半部分を通して演じる方法を学ぶ	腹式呼吸の暗記
9		講義・演習	腹式呼吸⑧ 自己解放ワーク 外郎売り後半部分を通して演じる方法を学ぶ	腹式呼吸の暗記
10		講義・演習	腹式呼吸⑨ 自己解放ワーク 外郎売り全体を通して演じ切る発声法を学ぶ	腹式呼吸を意識しながら外郎売を練習
11		講義・演習	外郎売り発表① 一人ひとり外郎売を演じる	腹式呼吸を意識しながら外郎売を練習
12		講義・演習	外郎売り発表② 一人ひとり外郎売を演じる	滑舌の苦手な箇所の練習
13		講義・演習	前週の反省点を振り返る 一人ひとりの課題を発見する	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
アクセント辞典				

科目名	発声・ボディートレーニング3	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	ストレッチ・体力作り ウラ声・オモテ声による発声練習・滑舌練習 インプロゲーム・シアターゲームを行う						
到達目標	自分がイメージした声・滑舌ができるようになる 腹式呼吸ができるようになる 相手に声が届くようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	発声について・メカニズム、腹式呼吸	呼吸の体操を实践 (発声に備えてのテキスト予習)
2		講義・演習	ストレッチ・呼吸の体操・声を出す	呼吸の体操を实践
3		講義・演習	ストレッチ・体力作り・発声(イエアオウ)	筋トレ・授業の復習
4		講義・演習	ストレッチ・発声(ウラ声、オモテ声)	ストレッチの順番を覚えてくる
5		講義・演習	ストレッチ・発声・ ストレッチリーダーを決める	自分たちだけでストレッチを行う 授業の復習
6		講義・演習	ストレッチ・発声・ シアターゲーム・滑舌	早口言葉の練習
7		講義・演習	ストレッチ・発声・ 滑舌(外郎売り)	外郎売りを読む・覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・ シアターゲーム・滑舌	外郎売り覚える
9		講義・演習	ストレッチ・発声・ シアターゲーム・滑舌	外郎売り覚える
10		講義・演習	ストレッチ・発声・滑舌(テスト課題)	呼吸の練習・外郎売覚え練習
11		講義・演習	ストレッチ・発声・滑舌(テスト課題)	呼吸の練習・外郎売覚え練習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	テスト(外郎売りの発表)	反省、振り返りをし課題を見つける
14		講義・演習	ストレッチ・発声・テストの反省会	後期に向け、反復練習
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 iPad教材「発声・滑舌教本」／外郎売り原稿				

科目名	発声・ボディートレーニング4	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山口 晃
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声 インプロゲーム・シアターゲームを行う 戯曲の一部の場面のセリフによる演技						
到達目標	自分がイメージした声・滑舌ができるようになる 相手に声が届くようになる 状況に応じた声が出るようになる						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム	呼吸の体操を实践 (発声に備えてのテキスト予習)
2		講義・演習	ストレッチ・発声・ 短いテキストの配布、説明	台本を読んでくる
3		講義・演習	ストレッチ・発声・前回配布台本の本読み	台本を読んでくる
4		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み① 「台本」とは	台本を読んでくる
5		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み② 発声を活かした台本読み	台本を読んでくる
6		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み③ 滑舌を活かした台本読み	台本を読んでくる
7		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み④ 外郎売りとは	外郎売りを読む・覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・台本の本読み⑤ 外郎売りのポイント指導	外郎売りを覚える
9		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古① 立稽古に必要な心構え	動きを覚える
10		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古② 演出について考える	役を表現するための演技の練習
11		講義・演習	ストレッチ・発声・立ち稽古③ 相手役とのコミュニケーション	役を表現するための演技の練習
12		講義・演習	ストレッチ・発声・テスト	反省、振り返りをし課題を見つける
13		講義・演習	ストレッチ・発声・テストの反省会	感想文を書く
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad教材「発声・滑舌教本」／演技テキスト台本				

科目名	演劇ワークショップ3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口晃
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲームを実施 与えられた役を演じるための準備を学び、役作りを行う 練習(稽古)と、その公演本番を経験し、俳優として必要な技術とマナーを学ぶ						
到達目標	役を正しく理解し、イメージをした演技をできるようになる。 また、演出家の求める演技をできるようになる。(ディレクションに答える) 台詞の裏側にある感情を表現できるようになる。(サブテキストに気づき、考えていくことができるようになる) 俳優に必要なコミュニケーション力・人間力を身に付けられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 目標を定める・日本語の文法を学ぶ	文法の文例を練習してくる
2		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 公演用台本配布・初見読み	台本を読めるようにしてくる(漢字・アクセント トチェックなど)
3		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 前回の台本を読む・脚本解釈	本読みをしてくる・やりたい役を定める
4		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 前回の台本のキャストオーディション	本読みをしてくる・オーディションの反省をす る
5		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ キャスティング発表・本読み	自分の役の本読みとサブテキストを考える
6		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 台本の本読み	自分の役の本読みとサブテキストを考える
7		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 台本の本読み	台詞を覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	動き・演出を整理し、理解、覚える
9		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳や小道具を考え、準備を進める
10		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳を決定、稽古で使用できるようにする
11		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳・小道具を準備する
12		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	すべてを練習し、理解、覚える 衣裳・小道具を準備する
13		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	すべてを練習し、理解、覚える 発表当日の段取り確認
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された公演台本・アクセント確認⇒アクセント辞典を使用				

科目名	演劇ワークショップ4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口晃
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6)		
教員の略歴	桐朋学園大学短期大学部芸術科演劇コース卒。劇団青年座所属(42年)、俳優・演出家として活躍。						
授業の学習 内容	ストレッチ・発声・インプロゲーム・シアターゲームを実施 与えられた役を演じるための準備を学び、役作りを行う 練習(稽古)と、その公演本番を経験し、俳優として必要な技術とマナーを学ぶ						
到達目標	役を正しく理解し、イメージをした演技をできるようになる。 また、演出家の求める演技をできるようになる。(ディレクションに答える) 台詞の裏側にある感情を表現できるようになる。(サブテキストに気づき、考えていくことができるようになる) 俳優に必要なコミュニケーション力・人間力を身に付けられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 卒業公演稽古はじめ/台本配布	公演用稽古・練習(自主練等の段取り)
2		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 台本の本読み	公演用稽古・脚本読み
3		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 台本の本読み	公演用稽古・脚本読み
4		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ キャストオーディション	台本読み・脚本理解
5		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ キャスト発表・本読み	台本読み・脚本理解・セリフを覚える
6		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 半立ち稽古	台本読み・脚本理解・セリフを覚える
7		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 半立ち稽古	台本読み・脚本理解・セリフを覚える
8		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	動き、演出を理解し、覚える
9		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	動き、演出を理解し、覚える
10		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 立ち稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
11		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
12		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
13		講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲーム・ 通し稽古	公演全体のことを考える (衣裳・小道具・動員など考え決める)
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された公演台本・アクセント確認⇒アクセント辞典を使用				

科目名	殺陣3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	所 博昭
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗で活動して30年						
授業の学習 内容	アクションとは本来(行動、動作)を意味する英語ですが、日本では暴力全般を指します。一口に暴力と言っても、殴る、蹴る、極める、投げる、切る、撃つ、等多義に渡り、役(キャラクター)によってもその行動は全く変わってきます。ここでは素手での暴力と痛みに注目し、空手の理論から武道を習ってない一般的な暴力と痛みまでを演技として表現する事、また受け手のリアクション表現を学びます。						
到達目標	暴力と痛みを表現する為に必要な技術と演技を覚える						
評価方法と基準	実技:各種の技とリアクションを表現できる=40% 理解度:攻撃の強さとそれに伴う痛みの程度を区別できる=30% 授業態度:イメージトレーニングや自主トレを怠らず、毎回の授業での講師や同級生の意見や行動から新しい発見を学ぶ事ができる=30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	拳の作り方、構え、空手の攻撃(正拳突き)	イメージトレーニング、柔軟、筋トレ
2		講義・演習	アクション式殴り(顔)、フック(顔、腹)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
3		講義・演習	リアクション(顔)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
4		講義・演習	リアクション(腹)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
5		講義・演習	空手の防御(上段受け、内受け、外受け、下段受け)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
6		講義・演習	攻撃のかわし方(さばき、ダッキング)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
7		講義・演習	空手の蹴り1(前蹴り、蹴り上げ、回し蹴り)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
8		講義・演習	空手の蹴り2(足刀、後ろ回し蹴り)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
9		講義・演習	特殊蹴り1(外蹴り、内蹴り)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
10		講義・演習	特殊蹴り2(膝蹴り、膝蹴りのリアクション)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
11		講義・演習	特殊技(前肘打ち、後ろ肘打ち、肘打ちの受け方)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
12		講義・演習	特殊技(関節技各種、関節技の受け)	前週の復習、イメトレ、柔軟、筋トレ
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			TV、映画、DVD、アニメ、動画、舞台、漫画、小説等のアクションを観て、他の俳優やアクション俳優、武道家がどう表現をしているか、またはどう動いているかを研究する。自分が出来るようになる為に必要な訓練方法(自主トレ、柔軟、筋トレ等)を見つけて行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	殺陣4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	所 博昭
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演 習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	アクション俳優、スタントマン、技斗として活動して30年						
授業の学習 内容	個々が個別の技を覚えて出来るようになってもそれはアクションではありません。全てのアクションは集団行動に依って成り立ちます。複数の出演者が攻撃、被害を繰り返します。更に、それを視聴者や観客に観てもらい、感動を生ませて初めてアクションとなります。カメラの特性を知り、動画で自分の演技を観て足りない部分を見つけます。また、特別授業としてモデルガンを使い、仕組みや種類、取り扱い方のガンアクションを学びます。						
到達目標	出演者と息を合わせ、アクションと演技を組み合わせる事が出来る様になる						
評価方法と基準	実技:安全を確保しつつアクションと演技を組み合わせる=40% 理解度:瞬間瞬間で出来ること、相手にさせられる事を判断できる=30% 授業態度:講師や同級生の演技や意見から幅広く演技プランを見つけ出す=30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	カメラの特性とアクションのバレ	前期の復習、イメトレ、自主トレ
2		講義・演習	1vs1でのアクションとその考察1	前週の復習、イメトレ、自主トレ
3		講義・演習	1vs1でのアクションとその考察2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
4		講義・演習	1vs1でのアクションとその考察3	前週の復習、イメトレ、自主トレ
5		講義・演習	1vs2でのアクションとその考察2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
6		講義・演習	1vs2でのアクションとその考察2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
7		講義・演習	1vs2でのアクションとその考察3	前週の復習、イメトレ、自主トレ
8		講義・演習	1vs多でのアクションとその考察1	前週の復習、イメトレ、自主トレ
9		講義・演習	1vs多でのアクションとその考察2	前週の復習、イメトレ、自主トレ
10		講義・演習	1vs多でのアクションとその考察3	前週の復習、イメトレ、自主トレ、
11		講義・演習	拳銃の仕組み、種類、構え方	前週の復習、イメトレ、自主トレ
12		講義・演習	ガンアクションとその考察	前週の復習、イメトレ、自主トレ
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			TV、アニメ、映画、DVD、動画、舞台、漫画、小説等を観て他の俳優やアクション俳優、キャラクターがどう表現し、どう動いているかを研究する。自分がやりたい事、出来るようになる為に必要な訓練方法(自主トレ、柔軟、筋トレ等)を見つけて行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アクターキャリア教育	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	瀬戸香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MC、コーディネーターとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	学校を卒業した後に、俳優として・社会人として、生き残っていくための社会人基礎力及び、芸能界のしきたりやルールを知る。俳優として、最低限知らなければならない情報を学ぶ。						
到達目標	芸能界のルール、社会人としてのマナーを身に着け、実践できるようになる。						
評価方法と基準	筆記テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	社会人基礎力とは何か?	「社会人の基礎知識」読了の事
2		講義・演習	「辞めないことが唯一の近道」 ゲストスピーカー：俳優	振り返りノート作成
3		講義・演習	「セルフマネジメントの大切さ」 ゲストスピーカー：芸能プロダクション社長	振り返りノート作成
4		講義・演習	「あの売れっ子俳優はなぜ売れたか」 ゲストスピーカー：チーフマネージャー	振り返りノート作成
5		講義・演習	「愛される若手俳優の処世術」 ゲストスピーカー：劇団俳優	振り返りノート作成
6		講義・演習	「マネージャーは部下か？上司か？～バラエティ番組で曲解される事実」	振り返りノート作成
7		講義・演習	「ここだけは外せない演劇史①近代・現代史」ゲストスピーカー：演出家	振り返りノート作成
8		講義・演習	「ここだけは外せない演劇史②古代史」ゲストスピーカー：演出家	振り返りノート作成
9		講義・演習	「俳優の安全と舞台知識」 ゲストスピーカー：舞台監督	振り返りノート作成
10		講義・演習	「新人の生きる道」 ゲストスピーカー：声優事務所社長	振り返りノート作成／グループセッション準備
11		講義・演習	「社会人とは何か？」グループセッション	振り返りノート作成／個人発表の準備
12		講義・演習	テスト 「社会人とは何か？」プレゼンテーション	振り返りノート作成
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	社会人基礎力とは何か ～振り返り・まとめ～	まとめ作成
準備学習 時間外学習			課題の準備。体調管理。	
【使用教科書・教材・参考書】				
社会人の基礎力				

科目名	シアターJAZZ 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	谷 さくら
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	俳優でも踊りを要求される現場が増える今、仕事をして行く上でのカテゴリーの一つとして踊りを踊れる事は重要である。芝居と同じで様々なシチュエーションでの表現を踊りで出来る様に、自分の身体と向き合い必要な集中力や基礎体力を養う。						
到達目標	表現・自己アピールをして行く上で、魅せ方や立ち姿など自分の身体をしっかり観察出来る観察力、想像力、キャッチ力などを意識出来る様になる。 現在の自分より二周りほど広い視野を持ち、身を置ける様になる。 身体の柔軟性、基礎体力を習得し、また、厳しい俳優の世界で続けることのできる精神力も養えるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	2人組でのストレッチ。筋トレ。ターンステップ。音楽に合わせて、振付コンビネーションを覚えて踊る	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	2人組でのストレッチ。筋トレ。ターンステップからバランス。音楽に合わせて、振付コンビネーションを覚えて踊る	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターンステップからバランス。音楽に合わせて、振付コンビネーション	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターンバランス。新しいコンビネーションに入る。	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターン。コンビネーションを進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。アイソレーション。ターン。コンビネーションを進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ウォーキング。ターン。コンビネーションを見せ合う。	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。前期テスト課題に入る。 テスト内容①ウォーキング②ターン③コンビネーション	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション① ターンを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション② ステップを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション③ 複数の技を組み合わせて踊ることを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	テストの実施 人前で魅せる表現を習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	前期のまとめ 後期に向けた課題発表	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			振り入れされたダンスを自主練すること	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、靴で参加。タオル・水分も必ず用意する				

科目名	シアターJAZZ 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	谷 さくら
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	俳優でも踊りを要求される現場が増える今、仕事をして行く上でのカテゴリーの一つとして踊りを踊れる事は重要である。芝居と同じで様々なシチュエーションでの表現を踊りで出来る様に、自分の身体と向き合い必要な集中力や基礎体力を養う。						
到達目標	表現・自己アピールをして行く上で、魅せ方や立ち姿など自分の身体をしっかり観察出来る観察力、想像力、キャッチ力などを意識出来る様になる。 現在の自分より二周りほど広い視野を持ち、身を置ける様になる。 身体の柔軟性、基礎体力を習得し、また、厳しい俳優の世界で続けることのできる精神力も養えるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)①振りの正確な修得	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
2		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)②振りの細かなニュアンス	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
3		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)③振りの表現について	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
4		講義・演習	ストレッチ。アイソレーション。ターンコンビネーション。コンビネーション(コンタクトを取り入れる)④互いに見せ合う	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
5		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ターンバランス。新しいコンビネーションに入る。	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
6		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。アイソレーション。ターン。コンビネーション進める。	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
7		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。ウォーキング。ターン。コンビネーションを見せ合う。	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
8		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。後期テスト課題に入る。 テスト内容①ウォーキング②ターン③コンビネーション	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
9		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション① ターンを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
10		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション② ステップを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
11		講義・演習	ストレッチ。筋トレ。テスト課題の振付 コンビネーション③ 複数の技を組み合わせることを習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
12		講義・演習	テストの実施 人前で魅せる表現を習得	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
13		講義・演習	前期のまとめ 2年向けの課題を各自考え、シェアする	振付したダンスを練習し、精度をあげる 動画を撮影し、研鑽する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			振り入れられたダンスを自主練すること	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書は使用しない。動きやすい服装、靴で参加。タオル・水分も必ず用意する				

科目名	映像アクティング 3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 晃
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	既存の脚本とビデオカメラを使用し、映像に対応できる演技を学ぶ						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ前で、少しでも自分の考えた通りに動けるようになる。 ・現状の自分と、なりたい自分をしっかり自覚できるようになる。 ・演技が楽しいと感じ、この役を演じてみたいと自ら積極性を持てるようになる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	【課題1】芝居を作る/本読み① 話の粗筋を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる
2		講義・演習	【課題1】芝居を作る/本読み② 登場人物を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる
3		講義・演習	【課題1】芝居を作る/立ち稽古① 相手と芝居が作れるようになる	台本を相手役と自主練習
4		講義・演習	【課題1】芝居を作る/立ち稽古② 自分の演技プランを考える	台本を相手役と自主練習
5		講義・演習	【課題1】芝居を作る/立ち稽古③ 自分の思った動きが出来るようになる	衣裳や小道具なども含め、準備
6		講義・演習	【課題1】カメラの前で芝居をする カメラに対する芝居を考える事が出来る	自分の演技について振り返る
7		講義・演習	【課題1】自分の芝居をしてみる① 自分を客観的に見れるようになる	次回課題の台本を読む
8		講義・演習	【課題2】芝居を作る/本読み① 話の粗筋・登場人物を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる
9		講義・演習	【課題2】芝居を作る/立ち稽古① 相手と芝居が作れるようになる	台本の読み込みと理解をしてくる
10		講義・演習	【課題2】芝居を作る/立ち稽古② 自分の演技プランを考える	台本を相手役と自主練習
11		講義・演習	【課題2】芝居を作る/立ち稽古③ 自分の思った動きが出来るようになる	台本を相手役と自主練習
12		講義・演習	【課題2】カメラの前で芝居をする カメラに対する芝居を考える事が出来る	衣裳や小道具なども含め、準備
13		講義・演習	【課題2】自分の芝居をしてみる② 自分を客観的に見れるようになる	後期撮影に向けたガイダンスを受けて準備
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			①レポート	
【使用教科書・教材・参考書】				
参考書「映画の演技」マイケル・ケイン著 劇書房				

科目名	映像アクティング 4	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 晃
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	主に実践。プロのスタッフと共に1つの作品を作り、その過程も含め映像演技を学ぶ。 オリジナル脚本を使用するため、現場での俳優としての立ち振る舞いや責任感も養う。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ前で、少しでも自分の考えた通りに動けるようになる。 ・演技を仕事として生きていく事のイメージが出来るようになる。 						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	作品作り/本読み① 作品の内容を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる
2		講義・演習	作品作り/本読み② 登場人物を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる
3		講義・演習	作品作り/本読み③ 自分の演技プランを考える	台本の読み込みと理解をしてくる
4		講義・演習	作品作り/本読み④ 作品に対しての自分の役割を考える	台本の読み込みと理解をしてくる
5		講義・演習	作品作り/立ち稽古① 自分の演技プランで動いてみる	台本の読み込みと理解をしてくる 衣裳・小道具を用意する
6		講義・演習	作品作り/立ち稽古② 演出意図を理解する	台本の読み込みと理解をしてくる 衣裳・小道具を用意する
7		講義・演習	作品作り/立ち稽古③ 収録スケジュールとスタッフの確認	台本の読み込みと理解をしてくる 衣裳・小道具を用意する
8		講義・演習	作品作り/立ち稽古④ 現場での立ち振る舞い、最終リハ	台本の読み込みと理解をしてくる 撮影スケジュール、担当割を確認し準備
9		講義・演習	作品作り/撮影① 現場を体験する	撮影準備
10		講義・演習	作品作り/撮影② 現場を体験する	撮影準備
11		講義・演習	作品作り/撮影③ 現場を体験する	撮影準備
12		講義・演習	作品作り/撮影④ 現場を体験する	撮影準備
13		講義・演習	自分たちの作品を見る、2年間のまとめ 卒業後に向けてのメッセージ	
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			レポートや撮影に向けた準備を実施すること。	
【使用教科書・教材・参考書】				
参考書「映画の演技」マイケル・ケイン著 劇書房				

科目名	アニソンゼミ1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。歌唱指導30年						
授業の学習 内容	アニソンを文化ととらえ、これからどう歌っていくかを求められるかを追求し、アーティストとしての自分を研究し、各自選曲、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現・ステージング等)をレクチャーする。アーティストとしての自身の方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースも学ぶ。また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性を持ったパフォーマーになれる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、ライブを行い、動員・内容共に成功を目指す。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アニソン文化の流れ、ガイダンス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜をしていく	もらったアドバイスに対しての練習 暗譜をしていく
8		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス 衣裳チェック	もらったアドバイスに対しての練習 衣裳を準備する
9		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
10		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
11		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
14		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ 本番	ライブを通じて、後期に向けた課題を採す
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Keyboard、マイク、ポータブルスピーカー、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具				

科目名	アニソンゼミ2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鮎川麻弥
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	「機動戦士Z・ガンダム」エンディング・テーマや主題歌、また200曲以上のCMソングを担当するなどヴォーカリストとして活躍中。歌唱指導30年						
授業の学習 内容	アニソンを文化ととらえ、これからどう歌っていくかを求められるかを追求し、アーティストとしての自分を研究し、各自選曲、ステージ上での歌唱(基本発声・音程・リズム・表現・ステージング等)をレクチャーする。アーティストとしての自身の方向性を考えながら、ステージングや衣裳などセルフプロデュースも学ぶ。また、ライブの進行や、スタッフとのコミュニケーションも学び、お客様はもちろん、スタッフや共演者からも愛されるアーティストになるための人間力も学ぶ。アーティストとしての自我育成にも努めていく。						
到達目標	セルフプロデュースでライブを行えるアーティストを目指し、歌唱及びステージングの技術やアーティスト感性をもったパフォーマーになれる。 学期末に音楽テクノロジー科協力のもと、ライブを行い、動員・内容共に成功を目指す。 卒業後に、いちアーティストとしてどう活躍していくかのビジョンが見えていくと、尚良い。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アニソン文化の流れ、ガイダンス～授業の流れ、セルフプロデュースについて、選曲	選曲をした楽曲のINST音源・歌詞(2部)用意
2		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
3		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
4		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
5		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
6		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー	もらったアドバイスに対しての練習
7		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜をしていく	もらったアドバイスに対しての練習 暗譜をしていく
8		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 暗譜にてパフォーマンス 衣裳チェック	もらったアドバイスに対しての練習 衣裳を準備する
9		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
10		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー ステージング・表情チェック	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
11		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー 仕上げ	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習
12		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ RH	もらったアドバイスに対しての練習 ステージング練習・本番に向けた準備
13		講義・演習	発声、ソロ歌唱&レクチャー アニソンゼミライブ 本番	ライブを通じて、卒業後に向けた課題を探す
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
Keyboard、マイク、ポータブルスピーカー、iPad・持参音源、歌詞カード(2部用意)、筆記用具				

科目名	日本舞踊1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮内 梨紗
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本舞踊を通じて、伝統芸能、和服の所作を学ぶ。 役の年齢によっての着付け、所作の違いを学ぶ。 小曲「白扇」の振りを勉強し、日本舞踊の基本動作を学ぶ。						
到達目標	浴衣の着付けが、自身と他人、両方できるようになる。 古典舞踊、新舞踊を知ることが出来る。 和服でのスチール撮影、時代劇で生かせる所作を学ぶ事ができる。 男女問わず、男踊り・女踊りを経験することにより、男らしい・女らしい所作を身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	浴衣の着付け、たたみ方	浴衣をきれいに着れるようになる
2		講義・演習	浴衣の着付け、挨拶、摺り足	浴衣をスピーティーに着れるようになる
3		講義・演習	「白扇」1 舞扇の名称について	浴衣をスピーティーに着れるようになる 振りの練習
4		講義・演習	「白扇」2 扇子を使った所作	浴衣をスピーティーに着れるようになる 振りの練習
5		講義・演習	「白扇」3 浴衣着付けテスト	振りの練習
6		講義・演習	「白扇」4 前週の復習・男踊りの基本の足さばき	振りの練習
7		講義・演習	「白扇」5 前週の復習・基本に忠実に踊る	振りの練習
8		講義・演習	「白扇」6 前週の復習・反復練習	振りの練習
9		講義・演習	「白扇」7 前週の練習・細かな表現と基礎	振りの練習
10		講義・演習	「白扇」8 男踊り、女踊りについて	振りの練習
11		講義・演習	「白扇」テスト	動画をみて、自身の踊りを振り返る
12		講義・演習	新舞踊1 自分の表現とは	振りを練習してくる
13		講義・演習	新舞踊2 基礎を重視した個性について	所作の確認
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			自主練を行い、踊りを研鑽すること 日本舞踊などの日本の伝統芸能に触れていくこと	
【使用教科書・教材・参考書】 (自分で用意)浴衣・帯・下着・足袋 (学校で用意)扇子				

科目名	日本舞踊2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宮内 梨紗
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	日本舞踊を通じて、伝統芸能、和服の所作を学ぶ。 役の年齢よっての着付け、所作の違いを学ぶ。 小曲「白扇」の振りを勉強し、日本舞踊の基本動作を学ぶ。						
到達目標	浴衣の着付け、古典舞踊、新舞踊を知ることによって自身の知識として扱えるようになる。 和服でのスチール撮影、時代劇で生かせる所作を学び、自身のスキルとして扱えるようになる。 男女問わず、男踊り・女踊りを経験することにより、男らしい・女らしい所作を身につけられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「江戸まつり」1 前半部分振り入れ	浴衣をスピーディーに着れるようになる 振りの練習
2		講義・演習	「江戸まつり」2 後半部分振り入れ	浴衣をスピーディーに着れるようになる 振りの練習
3		講義・演習	「江戸まつり」3 全体を通して細かな確認	振りの練習
4		講義・演習	「江戸まつり」4 粋に踊る	振りの練習
5		講義・演習	「江戸まつり」5 間を感じて表現する	振りの練習
6		講義・演習	「江戸まつり」テスト	動画をみて、自身の踊りを振り返る
7		講義・演習	新舞踊「ソーラン鷗」1 女踊りの所作・振り入れ	振りを練習してくる
8		講義・演習	新舞踊「ソーラン鷗」2 表現を感じながら踊る	振りを練習してくる
9		講義・演習	新舞踊「ソーラン鷗」テスト	動画をみて、自身の踊りを振り返る
10		講義・演習	創作舞踊1 現代曲と日本舞踊	振りの練習
11		講義・演習	創作舞踊2 基本を重視した自分らしい表現について	振りの練習
12		講義・演習	創作舞踊3 1年を通じて踊った作品を披露する	
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	創作舞踊 発表	
準備学習 時間外学習			自主練を行い、踊りを研鑽すること 日本舞踊などの日本の伝統芸能に触れていくこと	
【使用教科書・教材・参考書】				
浴衣・帯・足袋・扇子				

科目名	アクティング1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大谷 章文
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	俳優として、自分の課題を見つけ、さらにそれに則したものを提案し、形にすることを学ぶ。「複数の人間で創る」演劇を通して、俳優の仕事をしていくために必要な動きを実践する。年間を通じ、成果物を最低2つと定め、それを創り上げることで、自主的な動きを身につける。						
到達目標	表現者として自分の課題を見つけ、解決に向かって提案することができる俳優になることを目標とし、揺れ続ける芸能界へ漕ぎ出しても、自分で発見・研鑽をし続け、多くの関係者の中で動ける表現者になることを目指す。受動的ではなく能動的な俳優を目指すことができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	残り1年間のをどう有意義に過ごしていくか考え、「目標を決定」すること、今の自分への課題を見つける	自身の課題を基に、クラスと発表するための課題を探す
2		講義・演習	課題を提案しあい、クラスで発表する内容を定める	決まった課題台本を作成、または用意する
3		講義・演習	発表のための稽古① 台本読み・台本への向き合い方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える
4		講義・演習	発表のための稽古② 立ち稽古・ダメ出しの捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える
5		講義・演習	発表のための稽古③ 立ち稽古・他のキャストとのコミュニケーションを学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
6		講義・演習	発表のための稽古④ 通し稽古・全体を通じての作品の捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
7		講義・演習	発表のための稽古⑤ 通し稽古からのフィードバックを分析し演習	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
8		講義・演習	発表のための稽古⑥ フィードバックから得たものを元に研鑽稽古	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
9		講義・演習	発表のための稽古⑦ ここまで出てきた問題点のクリアの仕方を考える	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
10		講義・演習	発表のための稽古⑧ お客様に見せることを意識した作りを行う	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
11		講義・演習	発表のための稽古⑨ 最後の詰め稽古・自身の課題の解消のためのアクション	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	発表を通してのフィードバック 自身の目標に対する達成度を考える	後期に向けた題材探し
14		講義・演習	次の課題を考え、話し合う 後期に取り組む作品を決定する	課題発表実施のための準備を行う 課題台本の用意、実施日程の確認等
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
自分たちで決定した台本を持参すること、適時衣裳と小道具の用意				

科目名	アクティング2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	大谷 章文
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	俳優として、自分の課題を見つけ、さらにそれに則したものを提案し、形にすることを学ぶ。「複数の人間で創る」演劇を通して、俳優の仕事をしていくために必要な動きを実践する。年間を通じ、成果物を最低2つと定め、それを創り上げることで、自主的な動きを身につける。						
到達目標	表現者として自分の課題を見つけ、解決に向かって提案することができる俳優になることを目標とし、揺れ続ける芸能界へ漕ぎ出しても、自分で発見・研鑽をし続け、多くの関係者の中で動ける表現者になることを目指す。受動的ではなく能動的な俳優を目指すことができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	卒業後、社会人として芸能界に足を踏み入れた後をイメージし、現在の自分から自分の課題を見つける	自身の課題を基に、クラスと発表するための課題を探す
2		講義・演習	課題を提案しあい、クラスで発表する内容を決める	決まった課題台本を作成、または用意する
3		講義・演習	発表のための稽古① 台本読み・台本への向き合い方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える
4		講義・演習	発表のための稽古② 立ち稽古・ダメ出しの捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える
5		講義・演習	発表のための稽古③ 立ち稽古・他のキャストとのコミュニケーションを学ぶ	課題台本の読み込み、セリフを覚える 衣裳や小道具等の準備を実施する
6		講義・演習	発表のための稽古④ 通し稽古・全体を通じての作品の捉え方を学ぶ	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
7		講義・演習	発表のための稽古⑤ 通し稽古からのフィードバックを分析し演習	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
8		講義・演習	発表のための稽古⑥ フィードバックから得たものを元に研鑽稽古	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
9		講義・演習	発表のための稽古⑦ ここまで出てきた問題点のクリアの仕方を考える	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
10		講義・演習	発表のための稽古⑧ お客様に見せることを意識した作りを行う	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
11		講義・演習	発表のための稽古⑨ 現在の問題点の洗い出し(俳優として、大人として)	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
12		講義・演習	再度、卒業後、社会人として芸能界に足を踏み入れた後をイメージし、現在の自分から自分の課題を見つねおす	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
13		講義・演習	発表のための稽古⑩ 最後の詰め稽古・自身の課題の解消のためのアクション	課題台本の読み込み、ミサンスを見る 衣裳や小道具等の準備を実施する
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
自分たちで決定した台本を持参すること、適時衣裳と小道具の用意				

科目名	演技1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 晃
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	シェイクスピア=難しいという概念を崩せるように、シアターゲーム等の必要なウォーミングアップを行いつつ、「ロミオとジュリエット」で有名なバルコニーのシーンを演習します。シェイクスピア作品は当時の「大衆演劇」。なんでもありと言っていい。自分の言葉で生き生きと楽しめるよう、レッスンを行っていく。						
到達目標	与えられたセリフを「自分の言葉」のように、実感を持ってしゃべることができるようになる。その場で本当に「生きる」ことができるようになり、その上で、相手(共演者)との関係を成立させることができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	シェイクスピアの時代と作品の解説 テキスト読み合わせ	台本を読み、セリフを練習してくる
2		講義・演習	テキスト(ロミオとジュリエット)作品解説 台詞分割	台本を読み、セリフを練習してくる
3		講義・演習	台詞分割(ロミオ3人・ジュリエット6人)して読 み合わせ	台本を読み、セリフを練習してくる 自分の言葉になるように練習する
4		講義・演習	台詞分割(ロミオ3人・ジュリエット6人)して読 み合わせ/リラクセスして自分の言葉で	台本を読み、セリフを練習してくる サブテキストを考え、まとめてくる
5		講義・演習	台詞分割(ロミオ3人・ジュリエット6人)して読 み合わせ/サブテキストを意識	台本を読み、セリフを練習してくる サブテキストを考え、さらに演技を深める
6		講義・演習	1対1でそれぞれで練習 相手との関係を成立させる	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
7		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
8		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
9		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
10		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	台本を読み、セリフを練習してくる 相手との自主練習も行うこと
11		講義・演習	1組ずつ発表 ※テスト・成績つける	発表の際の反省点を見つめ、さらに何かできる か、台本を読み、セリフ練習
12		講義・演習	1組ずつ発表	自主練
13		講義・演習	1組ずつ発表	自主練
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布された台本(シェイクスピア作「ロミオとジュリエット」ちくま文庫・松岡和子訳)				

科目名	演技2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山口 晃
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	シェイクスピア=難しいという概念を崩せるように、シアターゲーム等の必要なウォーミングアップを行いつつ、「ハムレット」を演習します。 シェイクスピア作品は当時の「大衆演劇」。なんでもありとっていい。 自分の言葉で生き生きと楽しめるよう、レッスンを行っていく。						
到達目標	与えられたセリフを「自分の言葉」のように、実感を持ってしゃべることができるようになる。 その場で本当に「生きる」ことができるようになり、その上で、相手(共演者)との関係を成立させることができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	シェイクスピアの時代と作品の解説 テキスト読み合わせ	台本を読み、セリフを練習してくる
2		講義・演習	テキスト(ハムレット)作品解説 台詞分割	台本を読み、セリフを練習してくる
3		講義・演習	台詞分割して読み合わせ	台本を読み、セリフを練習してくる
4		講義・演習	台詞分割して読み合わせ/リラクセスして自分 の言葉で	自分の言葉になるように練習する 台本を読み、セリフを練習してくる
5		講義・演習	台詞分割して読み合わせ/サブテキストを意識	サブテキストを考え、まとめてくる 台本を読み、セリフを練習してくる
6		講義・演習	1対1でそれぞれで練習 相手との関係を成立させる	サブテキストを考え、さらに演技を深める 台本を読み、セリフを練習してくる
7		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	相手との自主練習も行うこと 台本を読み、セリフを練習してくる
8		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	相手との自主練習も行うこと 台本を読み、セリフを練習してくる
9		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	相手との自主練習も行うこと 台本を読み、セリフを練習してくる
10		講義・演習	1対1でそれぞれで演習し、チェック	相手との自主練習も行うこと 台本を読み、セリフを練習してくる
11		講義・演習	1組ずつ発表 ※テスト・成績つける	発表の際の反省点を見つめ、さらに何かできる か、台本を読み、セリフ練習
12		講義・演習	1組ずつ発表	自主練
13		講義・演習	1組ずつ発表	自主練
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アフレコワークショップ 1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山知佳
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として14年間活動中。						
授業の学習 内容	アニメーションやゲーム、声優のマイク前でのアテレコ演習を行い、マイク前での演技や環境、マイクワークを体感する。毎回異なる台本、アニメーションを使用し、実際にアフレコ演習を行う。声優として必要な、収録現場での立ち振る舞いや好感度について学ぶ。						
到達目標	声優としての表現の探求、マイク前での発声を学ぶことができる。そのためのトレーニングの指示。自分が持っている声の性質、心の性質について発見し、自己研鑽ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業の進め方、説明。オーディション自分についてどれだけ理解し、表現できるか	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
2		講義・演習	オーディション作品のアフレコ演習 自己評価と他己評価について	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
3		講義・演習	アフレコ演習1 セリフ、マイクワークを理解し、台本を読解する	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
4		講義・演習	アフレコ演習2 スタジオマナー・演出に対しての態度など、基本的なマナーについて	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
5		講義・演習	アフレコ演習3 演出に対しての瞬発力を養う	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
6		講義・演習	アフレコ演習4 演出を理解して、瞬発力とともに対応する力を養う	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
7		講義・演習	アフレコ演習5 大人数でのアテレコ演習	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
8		講義・演習	アフレコ演習6 音響監督と声優	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
9		講義・演習	アフレコ演習7 演じ分けとマイクワーク	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
10		講義・演習	アフレコ演習8 台本を深く読み込む マイクワークを身につける	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
11		講義・演習	アフレコ演習9 実践を通じてマイク前での表現技法を覚える	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
12		講義・演習	アフレコ演習10 実践を通じて、アテレコ表現をさらに学ぶ	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
13		講義・演習	アフレコ演習11、振り返り、総括 ディレクションに対しての瞬発力を試す	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			プロ同様のスケジュールリング(1週間～2日)で原稿配布・キャストイングを発表。プロの現場と思って、各自予習と準備をすること	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本を各自用意(キャストイング発表と共に、教務室へ自主的に取りに行く)				

科目名	アフレコワークショップ 2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山知佳
学科・コース	スーパーダンス科 屋間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として14年間活動中。						
授業の学習 内容	アニメーションやゲーム、声優のマイク前でのアフレコ演習を行い、マイク前での演技や環境、マイクワークを体感する。 毎回異なる台本、アニメーションを使用し、実際にアフレコ演習を行う。 声優として必要な、収録現場での立ち振る舞いや好感度について学ぶ。						
到達目標	声優としての表現の探求、マイク前での発声を学ぶことができる。 そのためのトレーニングの指示。 自分が持っている声の性質、心の性質について発見し、自己研鑽ができるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	アフレコ演習1 自分についてどれだけ理解し、表現できるか	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
2		講義・演習	アフレコ演習2 アフレコ関係者への立ち振る舞い(好感度について)	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
3		講義・演習	アフレコ演習3 自己評価と他己評価について	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
4		講義・演習	アフレコ演習4 演出に対しての瞬発力と応用力	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
5		講義・演習	アフレコ演習5 自分が「演じられるキャラクター」と「演じたいキャラクター」の違い	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
6		講義・演習	アフレコ演習6 「演じられるキャラクター」を極める	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
7		講義・演習	アフレコ演習7 感情解放とマイクワーク	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
8		講義・演習	アフレコ演習8 音響監督と声優 共演者とのコミュニケーション	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
9		講義・演習	アフレコ演習9 作品について調べ上げ、セリフ一つにこだわる	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
10		講義・演習	アフレコ演習10 視聴者を意識する	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック) 台本を自分で取得すること
11		講義・演習	アフレコ演習11 間について考える	事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
12		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
13		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
14		講義・演習	アフレコ演習12 声で共演者の芝居を感じる 壊す勇気と貫く勇気	台本を自分で取得すること 事前準備(作品調査・役作り・台本チェック)
15		講義・演習	アフレコ演習13 振り返り、総括	
準備学習 時間外学習			プロ同様のスケジュール(1週間～2日)で原稿配布・キャストイングを発表。プロの現場と思って、各自予習と準備をすること	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本を各自用意(キャストイング発表と共に、教務室へ自主的に取りに行く)				

科目名	紙芝居3	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中山知佳
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	2002年より、舞台を中心に活動。2005年声優として活動開始。2014年4月よりアップアンドアップスに所属。2015年より紙芝居師として14年間活動中。						
授業の学習 内容	紙芝居の表現を通して、エンターテイナーとしての基礎を学ぶ。人前に出て表現をすることを学ぶ。						
到達目標	紙芝居を通して、声だけでなく全身を使って表現できるようになる。人前で表現をすることが出来るようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	喜怒哀楽(感情コントロール)	次週課題について予習する
2		講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放1 元氣よく演じる	老若男女のお客様に親しんでもらうための表現 を考え練習する
3		講義・演習	クイズ紙芝居、感情解放2 キャラの使い分けを実践する	老若男女のお客様に親しんでもらうための表現 を考え練習する
4		講義・演習	グループ紙芝居① 担当割を決め、子供たちに伝わるトーンで演じる	課題練習
5		講義・演習	グループ紙芝居② 身体を使って表現すること、自由な発想について	課題練習
6		講義・演習	グループ紙芝居③ チームでテーマを決め、共有する	課題練習・アイデアを盛り込む
7		講義・演習	グループ紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団/倉嶋らむね)	ディレクションを受け、改善してみる
8		講義・演習	一人で紙芝居① ナレーション部分とセリフ部分の使い分け	課題練習
9		講義・演習	一人で紙芝居② 表現を「発散」すること	課題練習
10		講義・演習	一人で紙芝居③ 自分も楽しく、お客さんも楽しく	課題練習・アイデアを盛り込む
11		講義・演習	一人で紙芝居発表(特別講師:渋谷画劇団/倉嶋らむね)	ディレクションを受け、改善してみる
12		講義・演習	一人で紙芝居④ 発表 クラスメイトの発表を聞き、いいところを盗む	課題練習
13		講義・演習	一人で紙芝居⑤ 発表 振り返り、総括	ディレクションを受け、改善してみる
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			幼稚園・児童館等へ実習に行く可能性があります	
【使用教科書・教材・参考書】				
課題原稿、メモ、筆記用具				

科目名	ミュージカルゼミ1	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	瀬戸香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MCとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス&アクターズ専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	歌・ダンス・演技を組み合わせたミュージカルの演技法を学ぶ。 ミュージカル唱法・シアターダンス・演技を総合的に学ぶ。						
到達目標	ミュージカルの演技術を学び、卒業後にミュージカル業界で活躍できるレベルの歌・ダンス・演技のスキルを身に付けられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ミュージカルのため表現する身体 1 呼吸を中心にトレーニング法	ボディートレーニングの復習
2		講義・演習	ミュージカルのため表現する身体 2 ダンスを中心にトレーニング法	ボディートレーニングの復習
3		講義・演習	発声・呼吸法 1 繰り返しできる方法について・自己トレーニングの方法	発声・呼吸法の復習
4		講義・演習	発声・呼吸法 2 自己トレーニングの見直し	発声・呼吸法の復習
5		講義・演習	ミュージカル唱法 1 音階とリズム	課題曲の復習
6		講義・演習	ミュージカル唱法 2 感情をこめて歌うということ	課題曲の復習
7		講義・演習	課題曲の振り入れ 1 作品の決定・構成・配役について	課題曲の復習
8		講義・演習	課題曲の振り入れ 2 振付の細かな確認・表現について	課題曲の復習
9		講義・演習	課題曲の振り入れ 3 ミザンスをとる	課題曲の復習
10		講義・演習	課題曲の振り入れ 4 フォーメーションについて	課題曲の復習
11		講義・演習	アンサンブル 1 共演者とのコミュニケーション	定期テストに向けて
12		講義・演習	アンサンブル 2 作品を完成させる	定期テストに向けて
13		講義・演習	定期テスト 練習してきた課題曲の発表・評価・後期に向けての課題	定期テスト振り返り
14		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15		講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			腹式呼吸。滑舌練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・楽譜・筆記用具・動きやすい服装と役に応じた仮衣裳(ロングスカート等)				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優＆舞台芸術専門学校

科目名	ミュージカルゼミ2	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	瀬戸香織
学科・コース	スーパーダンス科 昼間部二	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2)		
教員の略歴	玉川大学文学部芸術学科芸術表現演劇コース卒業。2003年～2010年まで、ワイドアートの専門家として、全国各地のミュージカル事業に携わる他、演出、演出助手、文芸助手、舞台俳優、MCとして活動。2011年～現在に至るまで東京ダンス&アクターズ専門学校の常勤スタッフとして勤務。						
授業の学習 内容	歌・ダンス・演技を組み合わせたミュージカルの演技法を学ぶ。 ミュージカル唱法・シアターダンス・演技を総合的に学ぶ。						
到達目標	ミュージカルの演技術を学び、卒業後にミュージカル業界で活躍できるレベルの歌・ダンス・演技のスキルを身に付けられるようになる。						
評価方法と基準	実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	実技公開試験(発表会)に向けて 課題発表	実技公開試験に向けての自主課題
2	10月11日	講義・演習	課題曲 歌唱 発声法から見直す	実技公開試験に向けての自主課題
3	10月18日	講義・演習	課題曲 ダンス フォーメーション・ミザンスについて、全員で考える	実技公開試験に向けての自主課題
4	10月25日	講義・演習	実技公開試験に向けてのオーディション	実技公開試験に向けての自主課題
5	11月8日	講義・演習	実技公開試験 キャスト発表 リハーサル開始	実技公開試験に向けての自主課題
6	11月15日	講義・演習	実技公開試験 リハーサル 1 配役に応じたキャラクターづくり	実技公開試験に向けての自主課題
7	11月22日	講義・演習	実技公開試験 リハーサル 2 キャラクターをダンス・歌・演技に反映させる	実技公開試験に向けての自主課題
8	11月29日	講義・演習	実技公開試験 リハーサル 3 お客様の視点を踏まえたブラッシュアップをする	実技公開試験に向けての自主課題
9	12月6日	講義・演習	実技公開試験 リハーサル 4 自分の配役の責任・相手から発信されることを受け取る	実技公開試験に向けての自主課題
10	12月13日	講義・演習	実技公開試験 リハーサル 5 稽古場での立ち振る舞いやキャスト同士の相乗効果について	実技公開試験に向けての自主課題
11	12月20日	講義・演習	実技公開試験 ドレスリハーサル 衣裳・小道具の取り扱い	実技公開試験に向けての自主課題
12	1月10日	講義・演習	実技公開試験 通しリハーサル 衣裳・メイク・小道具・照明・音響・共演者・お客さんを考えたリハーサル	実技公開試験に向けての自主課題
13	1月17日	講義・演習	実技公開試験(発表会)と復習	実技公開試験に向けての自主課題
14	1月24日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
15	2月7日	講義・演習	課外授業	内容は授業内で発表
準備学習 時間外学習			腹式呼吸。滑舌練習。	
【使用教科書・教材・参考書】				
配布台本・楽譜・筆記用具・動きやすい服装と役に応じた仮衣裳(ロングスカート等)				

東京スクールオブミュージック専門学校渋谷／東京ダンス・俳優&舞台芸術専門学校